

# 資料編

- i 第1次地域福祉推進計画の総括
- ii 中学校区別基本データ
- iii 小地域福祉活動アンケート
- iv 「地域福祉のつどい」アンケート
- v 用語解説
- vi 計画策定の経緯
- vii 策定委員会設置要綱
- viii 策定委員会委員・作業部会員名簿

## 第1次地域福祉推進計画の総括

平成19年6月に策定しました『宍粟市社協第1次地域福祉推進計画』は、「宍粟市のだれもが安心して暮らせるふくしのまちづくり」を目標に、宍粟市全域の地域福祉経営に責任を持つ社協として、市民と地域の福祉向上のための課題を明らかにし、宍粟市でどのような地域福祉活動を展開していくのか、その方針をまとめたものです。

計画年次終了に伴い、策定委員と職員が集まり、2回にわたり計画の進捗状況を検証する評価会議を行いました。

### ・第1次地域福祉推進計画評価会議 開催状況

委員会	月日	会場	主な協議事項	出席者
第1回	H22 1/18(月) 13:30	一宮保健福祉センター	第1次地域福祉推進計画の進捗状況について/ 検証と評価( 当事者の自立生活を支え、自己実現を支援する 暮らしの場で豊かな関係性を築く地域ケアのしくみをつくる 地域福祉の推進と人材育成と地域づくりを支援する 社協経営を強化し地域福祉経営ができる社協をつくる)	16名
第2回	2/22(月) 13:30	一宮保健福祉センター	個別活動項目28項目の評価について/ 第2次地域福祉推進計画の策定について( 1次計画からの引き継ぐべき事項について 策定委員会の構成について)	17名

### ・第1次地域福祉推進計画 項目別評価表

推進目標	個別活動項目	3年間の推進状況
	1. 当事者の自立支援を支え自己実現を支援する	
	<b>総括</b>	
		当事者の自立支援という課題に対して、どこまで社協として支えられたのか疑問である。社協合併の中で、統一したサービス利用基準を作成し、そのモノサシに叶わない方々については、社協独自の支援はできなかったのではないかと。また、子育て支援についてもその対象が行政のそれと同じであり、事業化をはかっても市のものなのか、社協のものなのか、当事者にとってはわかりづらい。男性介護者の会づくりは、推進期間でニーズとしてあがったもので全力で対応した。1次計画では、課題として提起できなかったことは反省材料である。計画終了時点で、会が結成され有意義な運営がなされているのは、すばらしい。
	<b>最終目標など</b>	
		地域の支えあいの中で、一人ひとりがかげがえのない、存在として認められ、自分の意思に

よる選択や決定が尊重される必要があります。自分自身と社会の幸福、豊かさを追い求めながら、自分らしく生きていくことのできるまちを目指します。

相談所運営の見直し	山崎支部での心配ごと専門相談員の確保。結婚相談員も各支部で確保し増員した。
宍粟市出会いサポートセンター事業の推進	ホームページに出会いサポートセンター情報を掲載。会員も増えている、イベント前にセミナー等を開催し、大きな成果が出ている。
子育て支援のネットワークづくり	子どものための人形劇や子育てサロン等の取り組みを子育て支援センターやボランティアとともに実施しているが関係者による協議の場を持っていない。
当事者（介護者）の組織化支援	各支部で介護者のつどいの定期開催が定着した。「地域福祉のつどい」で提起された「男性介護者の会」づくりへの組織化が進み、21年度12月より男性介護者のつどいを市全体で開催。
調査活動の年次計画化	調査活動については、配食サービス等の意向調査をしたが、年次計画を立てて実施するまでにはなっていない。

## 2. 暮らしの場で豊かな関係性を築く地域ケアのしくみをつくる

### 総括

個別の事業や課題に対しては、それぞれ対応できたが、新たなサービス開発や新たな在宅福祉サービスの実施には、対応できなかった。さらに小地域でのしくみづくり、システム化についても未実施に終わった。

やはり、合併の影響で、これまでのサービスをつなぎ、新たな調整作業を行うことだけで精一杯で、当事者の生活に寄り添う取り組みやサービスの質的な転換を図る取り組みなど、全体として『地域の福祉力』を高めるものへと発展させることができなかった。

買い物サービスについては、波賀支部で開始するための議論を始めたが、実施にはいたらず、2次計画への課題となった。

### 最終目標など

生活の一部への関わりだけであったこれまでの画一的なサービスから、生活全体に関わり、地域におけるつながり（関係性）を豊かにするサービスへの質的な転換、また住民や行政、専門機関、事業者などが相互に連携する場としくみづくりを進め、自立した生活を支えるとともに「地域の福祉力」を高めていくことを目指します。

福祉マップづくり	一部の福祉連絡会では、作成されているが、全体での作成にはいたっていない。
宅老所づくりへの挑戦	必要性はいろんな所で論議されたが設置にむけては具体化できていない。

小地域福祉活動助成金のあり方検討	20年度において見直しを行い、前年度の各自治会の社協一般会員数を基礎にした見直しを行った。
配食サービス運営委員会の設置	20年度12月において、4支部すべてに配食サービス運営委員会を設置した。
福祉サービス利用援助事業の利用拡大	現在3名の利用者と1名の新規の利用希望者がある。2年前から2名の増。専門員の配置など市社協だけでなく、広域的な課題もある。
買い物サービスの立ち上げ	未実施。波賀支部で検討に入ったが、福祉有償運送事業の認可等の関係や運行時間や体制等の問題があり出来ていない。
お達者クラブの活動強化	一宮支部での事業実施。他支部での事業内容の充実を図っている。山崎支部では、旧山崎地区内のアプローチができていない。この問題は、行政の施策との関係もあり、今後行政担当課との協議が必要。
小地域ネットワーク会議の設置	専門職（社協職員）と当事者、住民の連携会議の場が持てていない。

### 3. 地域福祉推進の人材育成と地域（まち）づくりを支援する

#### 総括

ボランティア活動では、総合病院でのボランティア活動の調整と開始、また期間の最後には台風9号による兵庫県西北部豪雨災害の被災地となり、災害ボランティアセンターの設置運営など大きな成果のあった分野ではあるが、これらを含め、人材育成は達成できたかということになるかどうか。

要援護者の台帳作りや団塊の世代のボランティアグループづくり等、系統的で継続的な取り組みにはならなかったことは、2次計画への教訓としたい。

ただ、平時での福祉活動の取り組みが災害時に生きることを一宮支部の2つの被災自治会での「災害対策本部」設置により実証できたことは大きい。

#### 最終目標など

生活課題に住民が気づき、共感できる場づくりと住民同士の結びつき(組織化)を図り、地域福祉の人材育成につなげていきます。また、学習活動や情報活動を強化し、福祉のまちづくりを推進するための「自治会福祉連絡会」の組織化や「福祉活動計画づくり」の支援、平時から災害時を想定し、「災害時に発揮される福祉力」を高める取り組みも行います。

総合病院ボランティア活動へのアプローチ	ボランティアコーディネーターを中心に総合病院と協議を継続している。患者さん等市民アンケートを実施し、22年度から病院ボランティアが始動することになった。
団塊の世代を中心とした男性ボランティアの発掘	大阪ガスグループ福祉財団のアクティブシニア応援助成事業を実施し、男性ボランティアグループからの助成事業の申込もあり、今後に期待が持てる。

ホームページのリニューアル	20年度にホームページのリニューアルをした。日常の更新作業が十分でない。地域福祉担当職員のHPへの意識づけをする必要がある。
地域での福祉学習の推進（学習の場づくり）	波賀支部で一部の自治会を対象に福祉体験学習を実施しているが全支部での実施に至っていない。
災害救援マニュアルに基づく諸活動の推進	19年3月にマニュアルに基づくシミュレーションは実施したが、以後実施していない。また、携帯版のマニュアルを作成し、常時携帯させている。21年8月の豪雨災害で災害ボラセンを立ち上げ、マニュアルが役立った部分と見直しをする部分があった。また、防災倉庫について早急に整備を図る必要がある。
要援護者台帳の整備	社協のサービス利用者等の台帳や一覧表は整備しているが、それ以上のものについては今後の課題。

#### 4. 社協経営を強化し地域福祉経営ができる社協をつくる

##### 総括

計画推進委員会や評価委員会の設置が出来ず、毎年の事業計画にこの計画が十分反映されたとは言いがたい。

また、市民から「社協が遠くなった」感がするという声が聞かれることは、地域住民にとって社協の存在は合併後目立たなくなったということである。「大きくしながら小さくする」作業が、今回の計画のコンセプトであったが、「大きくはしたけれど、小さくすることができなかった」。これについては、地域の特性を活かした社協経営が不十分であったことを物語る。

合併後の事務事業の調整に大半の時間を取られ、地域での活動については大きく出遅れた感否めない。自治会別懇談会の70%の達成率は、大きな評価点であるが、これ以上の地域での活動は出来ていない。2次計画でも終了した地域での「懇談会」を行うことは必須となる。

「理事会」の毎月開催、補助金削減や新制度等に対応するための方針決定の場である「経営検討委員会」の継続的な活動など組織面では大きな前進があった。

2次計画では、支部活動の要である「支部地域福祉推進委員会」の活動強化と地域特性を活かした特色ある支部活動の推進が課題となる。

##### 最終目標など

社協らしい経営スタイルの原則とは、「住民の意思決定に基づく組織経営」「協働の促進による運動推進」「公共性を基盤にした事業実施」の3つです。これらをふまえ、地域の福祉力を高め、地域の発展を目指す地域福祉経営を行います。

計画推進委員会と評価委員会の組織化	毎年の評価やチェックが出来ていない。今回がはじめてである。評価のしくみづくりを行う。
支部地域福祉推進計画の策定と委員会運営の強化	支部地域福祉推進委員会は年間3回の開催をしているが、支部計画策定には至っていない。

介護保険事業経営検討委員会の組織化	社協事業全体の経営検討委員会を20年度に発足させ、検討を行っている。
苦情解決・危機管理のしくみづくり	苦情解決のしくみは出来ているが、マニュアルの作成が出来ていない。
人材育成をめざした人事考課制度の導入	プロジェクトチームを組織し、19年度が試行。20年度より本格的実施。
職員内部研修プログラム開発とOJTのしくみづくり	内部研修プログラムづくりは未実施だが、新任研修等は一定のプログラムが出来ている
社協事業のコスト把握と中長期の財政計画づくり	経営検討委員会等でコスト把握の方法や財政計画作りを検討していく。
会費の増強と使途の計画化	会費の使途を総務管理経費として明確に位置づけたが、賛助会費の19年度の120%増額を目指すのは大変。
自治会別懇談会の開催と社協活動の説明	千種・波賀で終了。一宮で97%終了。山崎支部が67%の終了。全体で122自治会で終了。

## 中学校区別基本データ

宍粟市の状況を把握するため、作業部会で中学校区ごとに基本データを調査しました。調査項目は、・自治会数、・民生児童委員数等、・人口、・世帯の状況、・老人クラブなどの20項目に加え、・要介護認定の状況、・当事者団体等、その他です。

この基本データをもとに、計画策定委員会で協議し、担当のコミュニティワーカーが地区ごとに「地域特性と課題」をまとめました。

中学校区別 基本データ

中学校区名	山崎西
-------	-----

基本データ

H22.3現在

項目/小学校区	山崎	菅野			中学校区内数	全市	割合
自治会数	28	5			33	157	21.0%
民生児童委員数	18	5			23	124	18.5%
主任児童委員数	-	-			1	9	11.1%
民生協力員数	38	10			48	246	19.5%
福祉委員数	56	15			71	688	10.3%
人口	7,294	2,279			9,573	43,262	22.1%
0歳以上15歳未満	1,196 16.4%	285 12.5%			1,481 15.5%	5,874 13.6%	25.2%
15歳以上65歳未満	4,309 59.1%	1,431 62.8%			5,740 60.0%	25,796 59.6%	22.3%
65歳以上	1,789 24.5%	563 24.7%			2,352 24.6%	11,592 26.8%	20.3%
75歳以上(再掲)	913 12.5%	310 13.6%			1,223 12.8%	6,575 15.2%	18.6%
世帯数	2,719	743			3,462	14,290	24.2%
高齢者のいる世帯	1,267 46.6%	394 53.0%			1,661 48.0%	8,129 56.9%	20.4%
高齢者ひとり暮らし世帯	243 8.9%	48 6.5%			291 8.4%	1,055 7.4%	27.6%
高齢者夫婦世帯	196 7.2%	48 6.5%			244 7.0%	962 6.7%	25.4%
緊急通報システム利用者数	91	22			113	503	22.5%
福祉電話利用者数	1	0			1	3	33.3%
生活保護世帯数					36	90	40.0%
児童扶養手当受給資格者数					19	64	29.7%
老人クラブ数	13	4			17	118	14.4%
老人クラブ会員数	1,287	491			1,778	10,129	17.6%

項 目		中学校区 内数	全市	割合
要介護認定	要支援1	35	133	26.3%
	要支援2	69	290	23.8%
	要介護1	58	369	15.7%
	要介護2	91	467	19.5%
	要介護3	43	293	14.7%
	要介護4	50	325	15.4%
	要介護5	71	332	21.4%
	要介護認定者数	417	2,209	18.9%
当事者団体等	身障手帳保持者数	(1,099)	1,991	-
	身体障害者福祉協会会員数	151	867	17.4%
	療育手帳保持者数	(143)	298	-
	手をつなぐ育成会会員数	14	100	14.0%
	精神保健手帳保持者数	(50)	101	-
	すぎの木家族会会員数	8	52	15.4%
	婦人共励会会員数	2	62	3.2%
保育所・園		5	16	31.3%
公立保育所数(再掲)		1	6	16.7%
公営住宅数		(169)	270	-

( )は旧町での人数

緊急通報システム利用者数はH22.8現在

要介護者人数は、H22.7現在。

老人会、身障協会、手をつなぐ育成会、すぎの木家族会、共励会会員数はH22.4

中学校区別 基本データ

中学校区名	山崎南
-------	-----

基本データ

H22.3現在

項目/小学校区	城下	戸原			中学校区内数	全市	割合
自治会数	13	3			16	157	10.2%
民生児童委員数	8	3			11	124	8.9%
主任児童委員数	-	-			1	9	11.1%
民生協力員数	16	5			21	246	8.5%
福祉委員数	33	11			44	688	6.4%
人口	4,433	1,402			5,835	43,262	13.5%
0歳以上15歳未満	652 14.7%	198 14.1%			850 14.6%	5,874 13.6%	14.5%
15歳以上65歳未満	2,854 64.4%	817 58.3%			3,671 62.9%	25,796 59.6%	14.2%
65歳以上	927 20.9%	387 27.6%			1,314 22.5%	11,592 26.8%	11.3%
75歳以上(再掲)	521 11.8%	205 14.6%			726 12.4%	6,575 15.2%	11.0%
世帯数	1,522	454			1,976	14,290	13.8%
高齢者のいる世帯	669 44.0%	267 58.8%			936 47.4%	8,129 56.9%	11.5%
高齢者ひとり暮らし世帯	72 4.7%	31 6.8%			103 5.2%	1,055 7.4%	9.8%
高齢者夫婦世帯	61 4.0%	26 5.7%			87 4.4%	962 6.7%	9.0%
緊急通報システム利用者数	19	8			27	503	5.4%
福祉電話利用者数	0	0			0	3	0.0%
生活保護世帯数					18	90	20.0%
児童扶養手当受給資格者数					10	64	15.6%
老人クラブ数	9	3			12	118	10.2%
老人クラブ会員数	614	344			958	10,129	9.5%

項 目		中学校区 内数	全市	割合
要介護認定	要支援1	11	133	8.3%
	要支援2	37	290	12.8%
	要介護1	39	369	10.6%
	要介護2	57	467	12.2%
	要介護3	36	293	12.3%
	要介護4	35	325	10.8%
	要介護5	37	332	11.1%
	要介護認定者数	252	1,786	14.1%
当事者団体等	身障手帳保持者数	(1,099)	1,991	-
	身体障害者福祉協会会員数	95	867	11.0%
	療育手帳保持者数	(143)	298	-
	手をつなぐ育成会会員数	14	100	14.0%
	精神保健手帳保持者数	(50)	101	-
	すぎの木家族会会員数	8	52	15.4%
	婦人共励会会員数	5	62	8.1%
保育所・園		4	16	25.0%
公立保育所数(再掲)		2	6	33.3%
公営住宅数		(169)	270	-

( )は旧町での人数

緊急通報システム利用者数はH22.8現在

要介護者人数は、H22.7現在。

老人会、身障協会、手をつなぐ育成会、すぎの木家族会、共励会会員数はH22.4

中学校区別 基本データ

中学校区名	山崎東
-------	-----

基本データ

H22.3現在

項目/小学校区	河東	神野	伊水	都多	中学校区内数	全市	割合
自治会数	11	9	7	5	32	157	20.4%
民生児童委員数	6	5	3	4	18	124	14.5%
主任児童委員数	-	-	-	-	1	9	11.1%
民生協力員数	13	12	7	5	37	246	15.0%
福祉委員数	18	18	7	13	56	688	8.1%
人口	3,545	2,810	1,609	1,079	9,043	43,262	20.9%
0歳以上15歳未満	570 16.1%	443 15.8%	220 13.7%	116 10.8%	1,349 14.9%	5,874 13.6%	23.0%
15歳以上65歳未満	2,229 62.9%	1,719 61.2%	1,000 62.2%	577 53.5%	5,525 61.1%	25,796 59.6%	21.4%
65歳以上	746 21.0%	648 23.1%	389 24.2%	386 35.8%	2,169 24.0%	11,592 26.8%	18.7%
75歳以上(再掲)	383 10.8%	373 13.3%	235 14.6%	230 21.3%	1,221 13.5%	6,575 15.2%	18.6%
世帯数	1,151	875	526	400	2,952	14,290	20.7%
高齢者のいる世帯	523 45.4%	445 50.9%	269 51.1%	271 67.8%	1,508 51.1%	8,129 56.9%	18.6%
高齢者ひとり暮らし世帯	55 4.8%	41 4.7%	33 6.3%	26 6.5%	155 5.3%	1,055 7.4%	14.7%
高齢者夫婦世帯	37 3.2%	50 5.7%	34 6.5%	52 13.0%	173 5.9%	962 6.7%	18.0%
緊急通報システム利用者数	18	15	9	19	61	503	12.1%
福祉電話利用者数	0	0	0	0	0	3	0.0%
生活保護世帯数					10	90	11.1%
児童扶養手当受給資格者数					19	64	29.7%
老人クラブ数	11	9	7	5	32	118	27.1%
老人クラブ会員数	726	604	382	328	2,040	10,129	20.1%

項 目		中学校区 内数	全市	割合
要 介 護 認 定	要支援1	34	133	25.6%
	要支援2	58	290	20.0%
	要介護1	83	369	22.5%
	要介護2	88	467	18.8%
	要介護3	61	293	20.8%
	要介護4	60	325	18.5%
	要介護5	60	332	18.1%
	要介護認定者数	444	2,209	20.1%
当 事 者 団 体 等	身障手帳保持者数	(1,099)	1,991	-
	身体障害者福祉協会会員数	173	867	20.0%
	療育手帳保持者数	(143)	298	-
	手をつなぐ育成会会員数	21	100	21.0%
	精神保健手帳保持者数	(50)	101	-
	すぎの木家族会会員数	5	52	9.6%
	婦人共励会会員数	13	62	21.0%
保育所・園		1	16	6.3%
公立保育所数(再掲)		0	6	0.0%
公営住宅数		(169)	270	-

( )は旧町での人数

緊急通報システム利用者数はH22.8現在

要介護者人数は、H22.7現在。

老人会、身障協会、手をつなぐ育成会、すぎの木家族会、共励会会員数はH22.4

中学校区別 基本データ

中学校区名	三土
-------	----

基本データ

H22.3現在

項目/小学校区	土万				中学校区内数	全市	割合
自治会数	4				4	157	2.5%
民生児童委員数	4				4	124	3.2%
主任児童委員数	山崎西と同じ				1	9	—
民生協力員数	4				4	246	1.6%
福祉委員数	4				4	688	0.6%
人口	1,030				1,030	43,262	2.4%
0歳以上15歳未満	83 8.1%				83 8.1%	5,874 13.6%	1.4%
15歳以上65歳未満	597 58.0%				597 58.0%	25,796 59.6%	2.3%
65歳以上	350 34.0%				350 34.0%	11,592 26.8%	3.0%
75歳以上(再掲)	205 19.9%				205 19.9%	6,575 15.2%	3.1%
世帯数	356				356	14,290	2.5%
高齢者のいる世帯	249 69.9%				249 69.9%	8,129 56.9%	3.1%
高齢者ひとり暮らし世帯	34 9.6%				34 9.6%	1,055 7.4%	3.2%
高齢者夫婦世帯	31 8.7%				31 8.7%	962 6.7%	3.2%
緊急通報システム利用者数	10				10	503	2.0%
福祉電話利用者数	2				2	3	66.7%
生活保護世帯数					1	90	1.1%
児童扶養手当受給資格者数					0	64	0.0%
老人クラブ数	4				4	118	3.4%
老人クラブ会員数	332				332	10,129	3.3%

項 目		中学校区 内数	全市	割合
要介護認定	要支援1	4	133	3.0%
	要支援2	6	290	2.1%
	要介護1	11	369	3.0%
	要介護2	10	467	2.1%
	要介護3	8	293	2.7%
	要介護4	11	325	3.4%
	要介護5	5	332	1.5%
	要介護認定者数	55	2,209	2.5%
当事者団体等	身障手帳保持者数	(1,099)	1,991	-
	身体障害者福祉協会会員数	16	867	1.8%
	療育手帳保持者数	(143)	298	-
	手をつなぐ育成会会員数	0	100	0.0%
	精神保健手帳保持者数	(50)	101	-
	すぎの木家族会会員数	4	52	7.7%
	婦人共励会会員数	0	62	0.0%
保育所・園		0	16	0.0%
公立保育所数(再掲)		0	6	0.0%
公営住宅数		(169)	270	-

( )は旧町での人数

緊急通報システム利用者数はH22.8現在

要介護者人数は、H22.7現在。

老人会、身障協会、手をつなぐ育成会、すぎの木家族会、共励会会員数はH22.4

中学校区別 基本データ

中学校区名	一宮南
-------	-----

基本データ

H22.3現在

項目/小学校区	神戸	染河内			中学校区内数	全市	割合
自治会数	12	7			19	157	12.1%
民生児童委員数	11	7			18	124	14.5%
主任児童委員数	-	-			1	9	11.1%
民生協力員数	23	14			37	246	15.0%
福祉委員数	84	35			119	688	17.3%
人口	4,296	1,510			5,806	43,262	13.4%
0歳以上15歳未満	559 13.0%	158 10.5%			717 12.3%	5,874 13.6%	12.2%
15歳以上65歳未満	2,594 60.4%	935 61.9%			3,529 60.8%	25,796 59.6%	13.7%
65歳以上	1,143 26.6%	417 27.6%			1,560 26.9%	11,592 26.8%	13.5%
75歳以上(再掲)	642 14.9%	234 15.5%			876 15.1%	6,575 15.2%	13.3%
世帯数	1,309	406			1,715	14,290	12.0%
高齢者のいる世帯	781 59.7%	286 70.4%			1,067 62.2%	8,129 56.9%	13.1%
高齢者ひとり暮らし世帯	74 5.7%	14 3.4%			88 5.1%	1,055 7.4%	8.3%
高齢者夫婦世帯	66 5.0%	18 4.4%			84 4.9%	962 6.7%	8.7%
緊急通報システム利用者数	52	3			55	503	10.9%
福祉電話利用者数	0	0			0	3	0.0%
生活保護世帯数					8	90	8.9%
児童扶養手当受給資格者数					3	64	4.7%
老人クラブ数	10	7			17	118	14.4%
老人クラブ会員数	1,112	459			1,571	10,129	15.5%

項 目		中学校区 内数	全市	割合
要介護認定	要支援1	4	133	3.0%
	要支援2	21	290	7.2%
	要介護1	43	369	11.7%
	要介護2	63	467	13.5%
	要介護3	48	293	16.4%
	要介護4	51	325	15.7%
	要介護5	49	332	14.8%
	要介護認定者数	279	2,209	12.6%
当事者団体等	身障手帳保持者数	(469)	1,991	-
	身体障害者福祉協会会員数	114	867	13.1%
	療育手帳保持者数	(50)	298	-
	手をつなぐ育成会会員数	19	100	19.0%
	精神保健手帳保持者数	(25)	101	-
	すぎの木家族会会員数	8	52	15.4%
	婦人共励会会員数	0	62	0.0%
保育所・園		1	16	6.3%
公立保育所数(再掲)		1	6	16.7%
公営住宅数		(40)	270	-

( )は旧町での人数

緊急通報システム利用者数はH22.8現在

要介護者人数は、H22.7現在。

老人会、身障協会、手をつなぐ育成会、すぎの木家族会、共励会会員数はH22.4

中学校区別 基本データ

中学校区名	一宮北
-------	-----

基本データ

H22.3現在

項目/小学校区	下三方	三方	繁盛		中学校区内数	全市	割合
自治会数	6	6	8		20	157	12.7%
民生児童委員数	6	5	7		18	124	14.5%
主任児童委員数	-	-	-		1	9	11.1%
民生協力員数	12	10	13		35	246	14.2%
福祉委員数	42	32	46		120	688	17.4%
人口	1,435	1,497	1,058		3,990	43,262	9.2%
0歳以上15歳未満	155 10.8%	188 12.6%	122 11.5%		465 11.7%	5,874 13.6%	7.9%
15歳以上65歳未満	839 58.5%	864 57.7%	574 54.3%		2,277 57.1%	25,796 59.6%	8.8%
65歳以上	441 30.7%	445 29.7%	362 34.2%		1,248 31.3%	11,592 26.8%	10.8%
75歳以上(再掲)	274 19.1%	266 17.8%	246 23.3%		786 19.7%	6,575 15.2%	12.0%
世帯数	442	458	320		1,220	14,290	8.5%
高齢者のいる世帯	307 69.5%	321 70.1%	248 77.5%		876 71.8%	8,129 56.9%	10.8%
高齢者ひとり暮らし世帯	36 8.1%	45 9.8%	32 10.0%		113 9.3%	1,055 7.4%	10.7%
高齢者夫婦世帯	39 8.8%	31 6.8%	39 12.2%		109 8.9%	962 6.7%	11.3%
緊急通報システム利用者数	25	33	22		80	503	15.9%
福祉電話利用者数	0	0	0		0	3	0.0%
生活保護世帯数					4	90	4.4%
児童扶養手当受給資格者数					1	64	1.6%
老人クラブ数	5	5	6		16	118	13.6%
老人クラブ会員数	419	419	355		1,193	10,129	11.8%

項 目		中学校区 内数	全市	割合
要介護認定	要支援1	10	133	7.5%
	要支援2	37	290	12.8%
	要介護1	45	369	12.2%
	要介護2	49	467	10.5%
	要介護3	44	293	15.0%
	要介護4	38	325	11.7%
	要介護5	37	332	11.1%
	要介護認定者数	260	2,209	11.8%
当事者団体等	身障手帳保持者数	(469)	1,991	-
	身体障害者福祉協会会員数	64	867	7.4%
	療育手帳保持者数	(50)	298	-
	手をつなぐ育成会会員数	9	100	9.0%
	精神保健手帳保持者数	(25)	101	-
	すぎの木家族会会員数	7	52	13.5%
	婦人共励会会員数	1	62	1.6%
保育所・園		1	16	6.3%
公立保育所数(再掲)		1	6	16.7%
公営住宅数		(40)	270	-

( )は旧町での人数

緊急通報システム利用者数はH22.8現在

要介護者人数は、H22.7現在。

老人会、身障協会、手をつなぐ育成会、すぎの木家族会、共励会会員数はH22.4

中学校区別 基本データ

中学校区名	波賀
-------	----

基本データ

H22.3現在

項目/小学校区	波賀	野原	道谷		中学校区内数	全市	割合
自治会数	10	8	2		20	157	12.7%
民生児童委員数	11	5	1		17	124	13.7%
主任児童委員数	-	-	-		2	9	22.2%
民生協力員数	22	10	2		34	246	13.8%
福祉委員数	142	36	10		188	688	27.3%
人口	3,373	845	165		4,383	43,262	10.1%
0歳以上15歳未満	447 13.3%	71 8.4%	21 12.7%		539 12.3%	5,874 13.6%	9.2%
15歳以上65歳未満	1,895 56.2%	455 53.8%	84 50.9%		2,434 55.5%	25,796 59.6%	9.4%
65歳以上	1,031 30.6%	319 37.8%	60 36.4%		1,410 32.2%	11,592 26.8%	12.2%
75歳以上(再掲)	568 16.8%	203 24.0%	27 16.4%		798 18.2%	6,575 15.2%	12.1%
世帯数	1,092	276	56		1,424	14,290	10.0%
高齢者のいる世帯	710 65.0%	210 76.1%	40 71.4%		960 67.4%	8,129 56.9%	11.8%
高齢者ひとり暮らし世帯	96 8.8%	26 9.4%	5 8.9%		127 8.9%	1,055 7.4%	12.0%
高齢者夫婦世帯	87 8.0%	37 13.4%	5 8.9%		129 9.1%	962 6.7%	13.4%
緊急通報システム利用者数	37	13	0		50	503	9.9%
福祉電話利用者数	0	0	0		0	3	0.0%
生活保護世帯数					2	90	2.2%
児童扶養手当受給資格者数					8	64	12.5%
老人クラブ数	10	5	2		17	118	14.4%
老人クラブ会員数	991	285	58		1,334	10,129	13.2%

項 目		中学校区 内数	全市	割合
要介護認定	要支援1	20	133	15.0%
	要支援2	34	290	11.7%
	要介護1	50	369	13.6%
	要介護2	49	467	10.5%
	要介護3	26	293	8.9%
	要介護4	46	325	14.2%
	要介護5	49	332	14.8%
	要介護認定者数	274	2,209	12.4%
当事者団体等	身障手帳保持者数	198	1,991	9.9%
	身体障害者福祉協会会員数	79	867	9.1%
	療育手帳保持者数	68	298	22.8%
	手をつなぐ育成会会員数	12	100	12.0%
	精神保健手帳保持者数	10	101	9.9%
	すぎの木家族会会員数	8	52	15.4%
	婦人共励会会員数	22	62	35.5%
保育所・園		2	16	12.5%
公立保育所数(再掲)		1	6	16.7%
公営住宅数		34	270	12.6%

緊急通報システム利用者数はH22.8現在

要介護者人数は、H22.7現在。

老人会、身障協会、手をつなぐ育成会、すぎの木家族会、共励会会員数はH22.4

中学校区別 基本データ

中学校区名	千種
-------	----

基本データ

H22.3現在

項目/小学校区	千種南	千種北	千種東		中学校区内数	全市	割合
自治会数	10	2	1		13	157	8.3%
民生児童委員数	12	2	1		15	124	12.1%
主任児童委員数	-	-	-		2	9	22.2%
民生協力員数	24	4	2		30	246	12.2%
福祉委員数	111	21	11		143	688	20.8%
人口	2,784	543	275		3,602	43,262	8.3%
0歳以上15歳未満	320 11.5%	39 7.2%	31 11.3%		390 10.8%	5,874 13.6%	6.6%
15歳以上65歳未満	1,561 56.1%	312 57.5%	150 54.5%		2,023 56.2%	25,796 59.6%	7.8%
65歳以上	903 32.4%	192 35.4%	94 34.2%		1,189 33.0%	11,592 26.8%	10.3%
75歳以上(再掲)	554 19.9%	117 21.5%	69 25.1%		740 20.5%	6,575 15.2%	11.3%
世帯数	928	173	84		1,185	14,290	8.3%
高齢者のいる世帯	673 72.5%	130 75.1%	69 82.1%		872 73.6%	8,129 56.9%	10.7%
高齢者ひとり暮らし世帯	112 12.1%	20 11.6%	10 11.9%		142 12.0%	1,055 7.4%	13.5%
高齢者夫婦世帯	74 8.0%	19 11.0%	12 14.3%		105 8.9%	962 6.7%	10.9%
緊急通報システム利用者数	84	13	10		107	503	21.3%
福祉電話利用者数	0	0	0		0	3	0.0%
生活保護世帯数					11	90	12.2%
児童扶養手当受給資格者数					4	64	6.3%
老人クラブ数	0	2	1		3	118	2.5%
老人クラブ会員数	669	179	75		923	10,129	9.1%

項 目		中学校区 内数	全市	割合
要介護認定	要支援1	15	133	11.3%
	要支援2	28	290	9.7%
	要介護1	40	369	10.8%
	要介護2	60	467	12.8%
	要介護3	27	293	9.2%
	要介護4	34	325	10.5%
	要介護5	24	332	7.2%
	要介護認定者数	228	2,209	10.3%
当事者団体等	身障手帳保持者数	225	1,991	11.3%
	身体障害者福祉協会会員数	175	867	20.2%
	療育手帳保持者数	37	298	12.4%
	手をつなぐ育成会会員数	11	100	11.0%
	精神保健手帳保持者数	16	101	15.8%
	すぎの木家族会会員数	4	52	7.7%
	婦人共励会会員数	19	62	30.6%
保育所・園		1	16	6.3%
公立保育所数(再掲)		0	6	0.0%
公営住宅数		27	270	10.0%

緊急通報システム利用者数はH22.8現在

要介護者人数は、H22.7現在。

老人会、身障協会、手をつなぐ育成会、すぎの木家族会、共励会会員数はH22.4

# アンケート調査

## 小地域福祉活動についてのアンケート

### 調査報告書(2011年2月)

#### 《留意事項》

回答結果は、少数第2位を四捨五入した有効サンプル数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計値が100.0%にならない場合があります。

図表中において、「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。

アンケート調査にご協力いただいた2自治会については、自治会名が無記入のため宍粟市全体のみでの集計となり、支部集計とは対象外となります。

【問1】の福祉連絡会の設置についての設問では、福祉連絡会の組織はないが関係者と連携して取り組んでいるとの回答が多数あったため、「1.設置している」「2.設置していない」に、「組織はないが連携している」の回答結果を追加しています。

## 1. 調査の目的

第2次地域福祉推進計画では、推進目標の一つとして「自治会域での福祉のつながりづくり」を掲げており、本アンケート調査は、自治会単位での福祉活動の現状を調査し、この計画づくりに反映させることを目的に実施した。

## 2. 調査の方法

小地域福祉活動リーダーである、各自治会福祉連絡会代表（代表福祉委員）の方157人にアンケート調査のご協力をいただいた。

対象者	調査実施期間	配布・回収方法
各自治会福祉連絡会代表 157人	平成22年11月24日 ～12月6日	郵送による配布・回収

## 3. 回収状況

調査票の配布数は157件、回収数は128件(山崎支部:67/85 一宮支部:35/39 波賀支部:15/20 千種支部:9/13)であり、有効回収率は81.5%となっている。

#### 4. アンケート調査内容（調査票）

### 小地域福祉活動アンケート（平成22年4月～11月末現在の取組み状況）

（ ）自治会 自治会にご相談いただきご回答ください

【問1】 あなたの自治会では、小地域福祉活動を効果的に実践するため、福祉活動の中心的推進者で構成する「福祉連絡会」を設置していますか。

1. 設置している                      2. 設置していない



**あなたの自治会の福祉連絡会について構成員すべてにをつけてください。また、福祉連絡会の代表者にはをつけてください。**

- |                                  |             |
|----------------------------------|-------------|
| 1. 福祉委員                          | 2. 自治会長     |
| 3. 自治会役員（                      ） | 4. 民生委員児童委員 |
| 5. 民生児童協力委員                      | 6. 女性部（婦人会） |
| 7. 老人クラブ                         | 8. 子ども会     |
| 9. 消防団                           | 10. ボランティア  |
| 11. その他（                      ）  |             |

【問2】 福祉連絡会の活動についてお聞きします。（福祉委員として活動している場合についてお聞きします） **1. 2. 3のどれかに**をつけてください。

（ 1. うまく行われている    2. まあまあ行われている    3. ほとんどない ）

活動内容		1	2	3
連携	自治会長や民生委員、福祉委員等が連携・連絡をしながら活動している。			
	行政や社協などと連携・連絡をしながら活動している。			
基本・交流活動	福祉問題や活動について会議を開催している。 <small>(回数)</small>			
	福祉活動の年間計画を立てて、計画的な活動をしている。			
	見守りや声かけ活動（安否確認）を実施している。			
	ふれあいサロンや喫茶を実施している。 <small>(回数)</small>			
	3世代交流活動や子育て支援活動を実施している。			
	防災活動（避難訓練等）を実施している。			
	福祉学習会（講演会や体験学習等）を実施している。			
	福祉だより等を作成し福祉情報を住民に発信している。			

( 1 . うまく行われている    2 . まあまあ行われている    3 . ほとんどない )

活動内容		1	2	3
要 援 護 者 支 援	要援護者（見守りが必要な高齢者や障がい者等）を把握している。			
	要援護者が地域行事に参加できるよう配慮（工夫）している。			
	要援護者への個別援助やお手伝い等を行っている。			
活 動 費	活動のための社協助成金（小地域福祉活動助成金）を活用している。			
	自治会独自（社協助成金以外）の財源を活用している。			
組 織	福祉連絡会では、代表、会計等、組織の役割分担を行っている。			
	福祉連絡会を自治会の福祉分野（福祉部）として位置づけている。			

福祉連絡会がない場合は、ご回答は不要です。

**【問3】** あなたの地域では、日頃から助け合う気風がありますか。 当てはまるどれかに をつけてください。

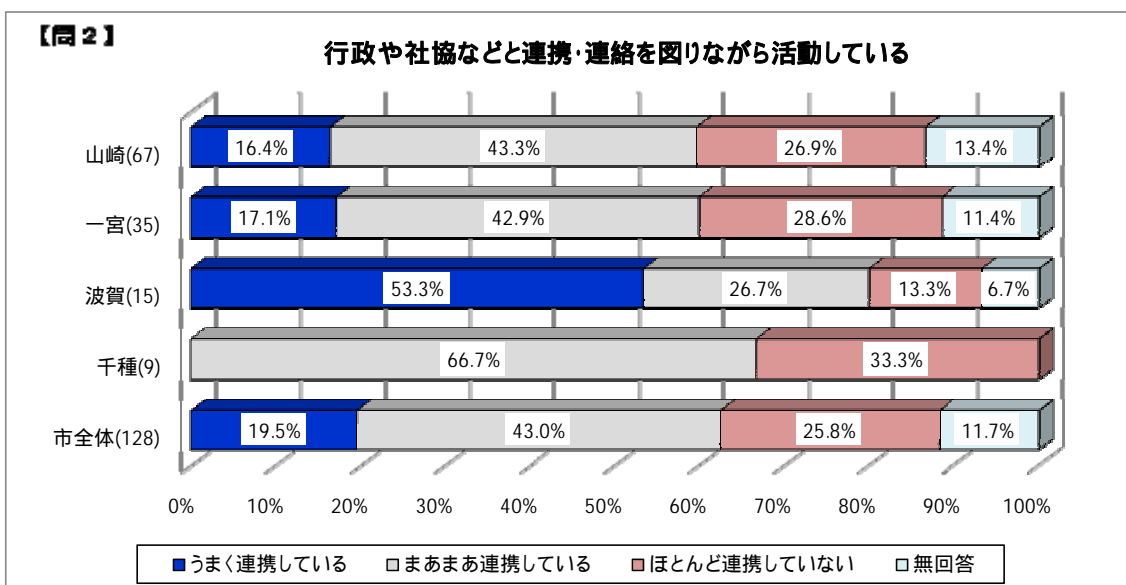
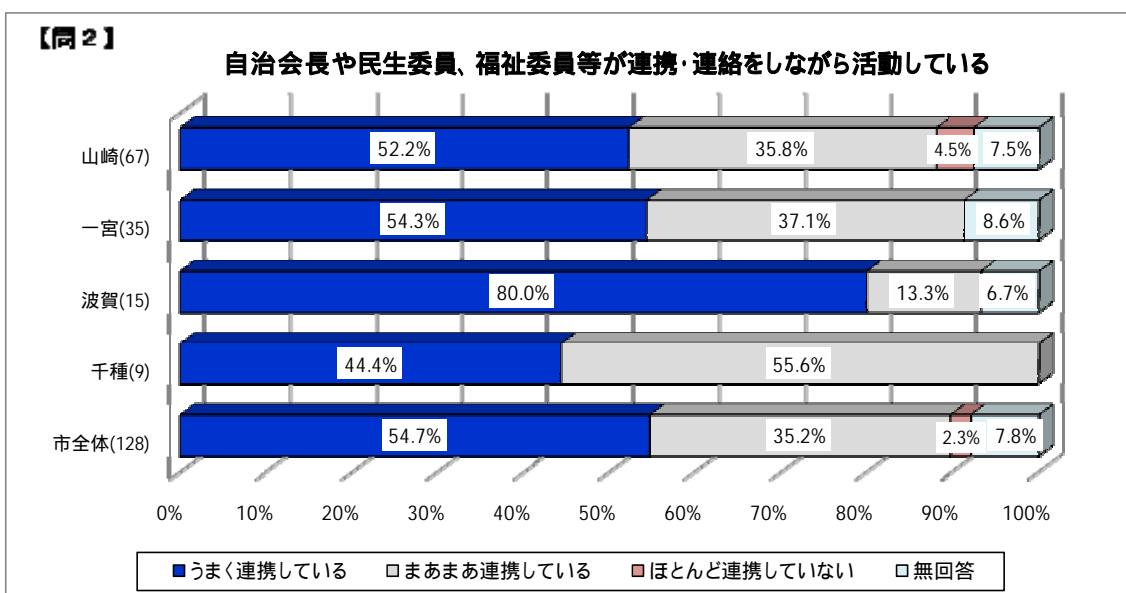
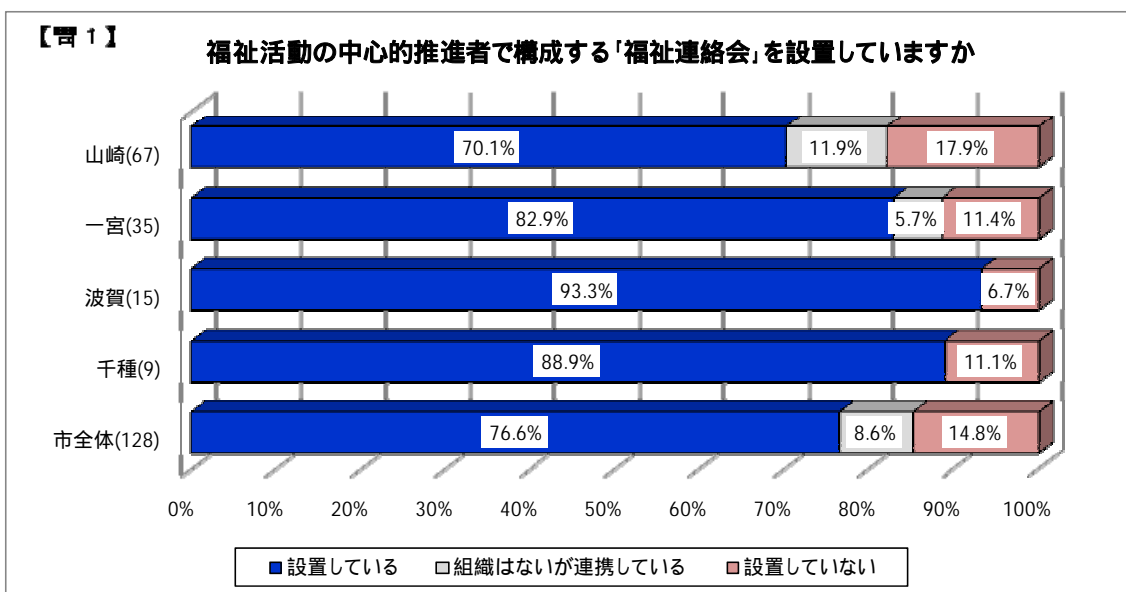
1 . とてもある      2 . まあまあある      3 . ほとんどない

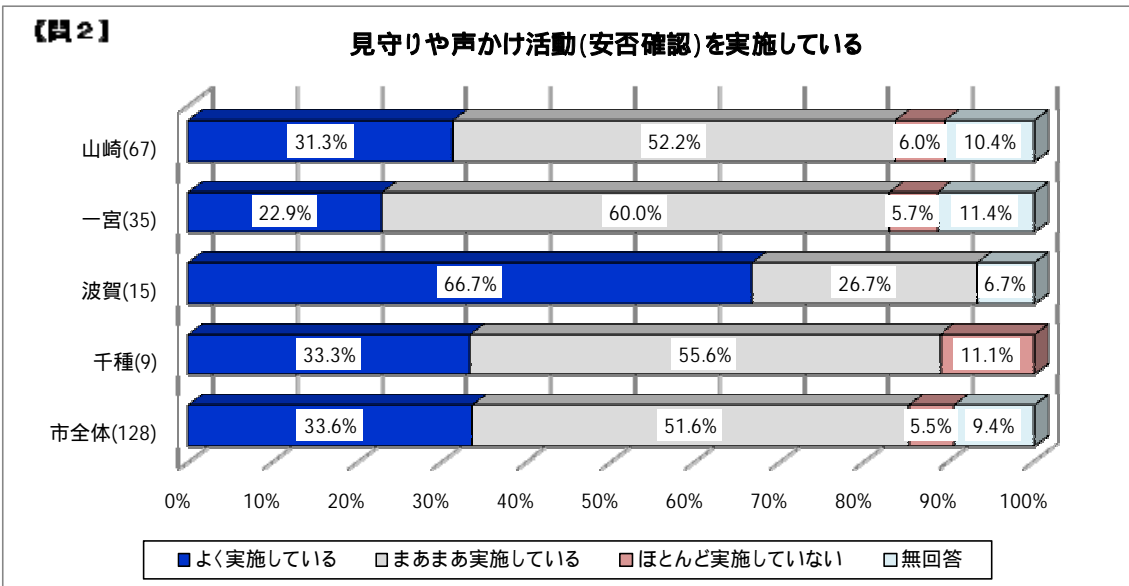
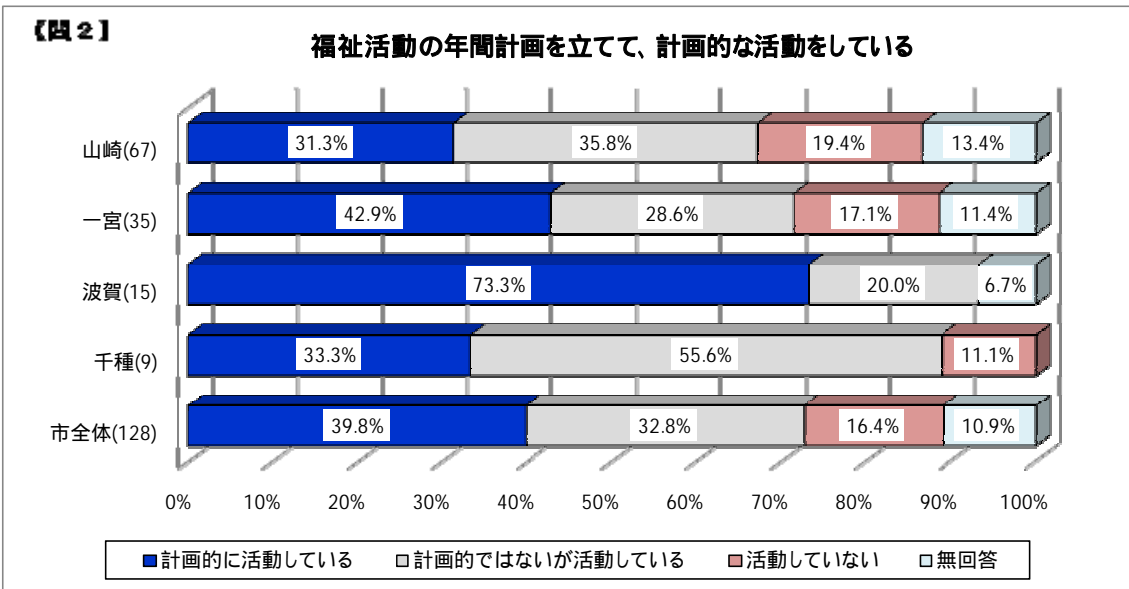
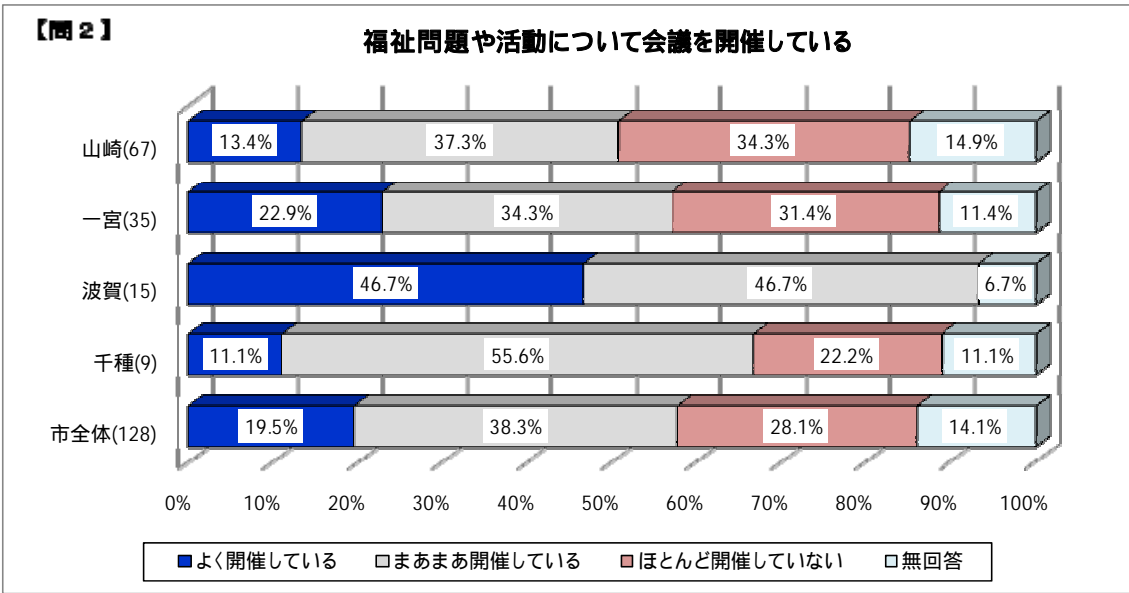
(上の項目を選んだ理由を簡単にお書きください)

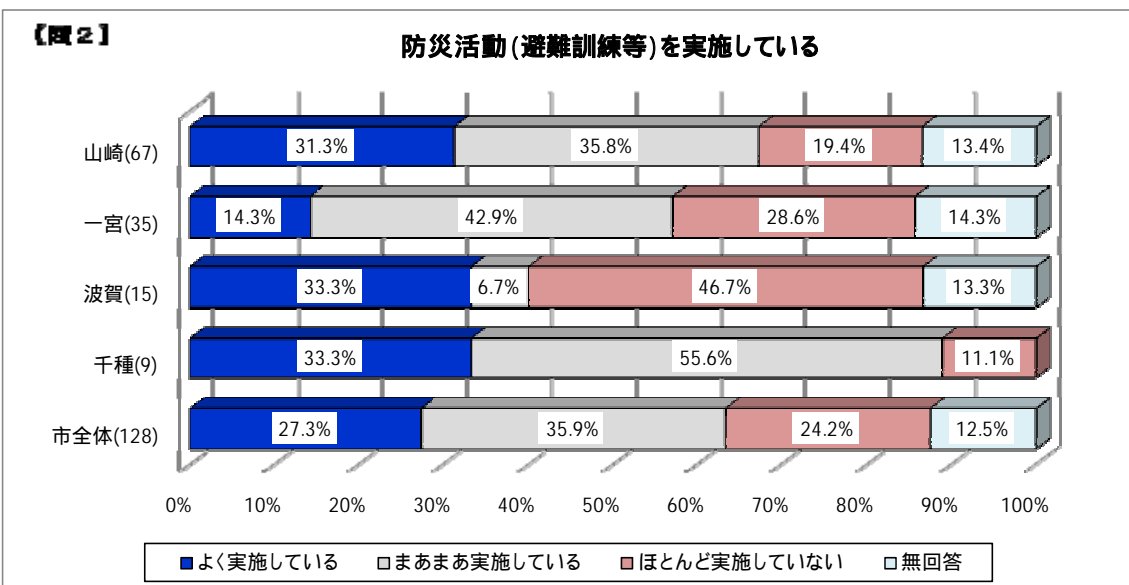
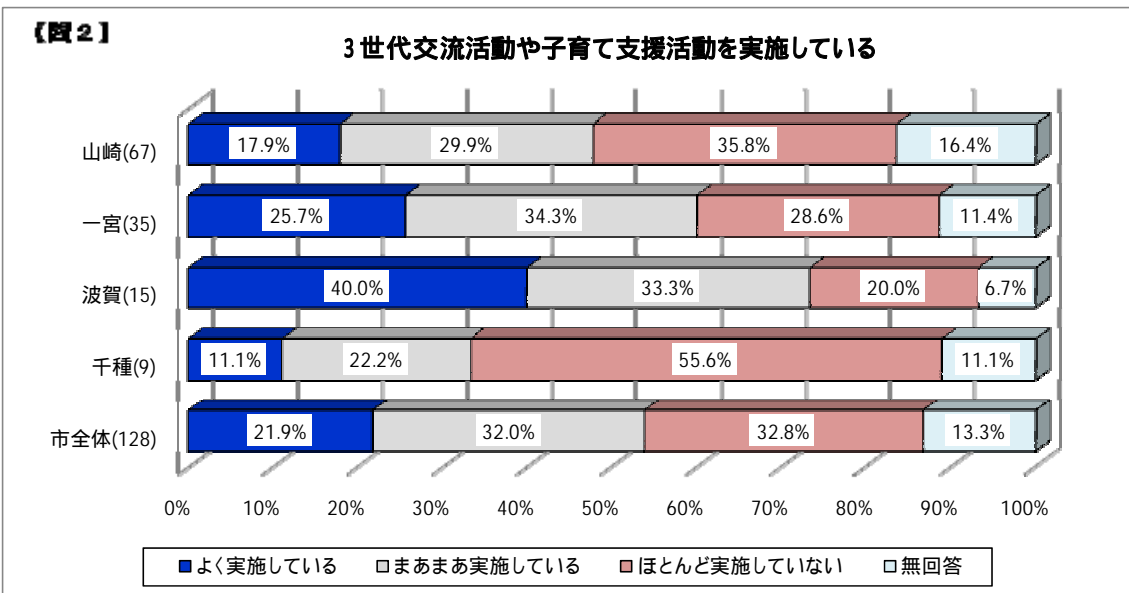
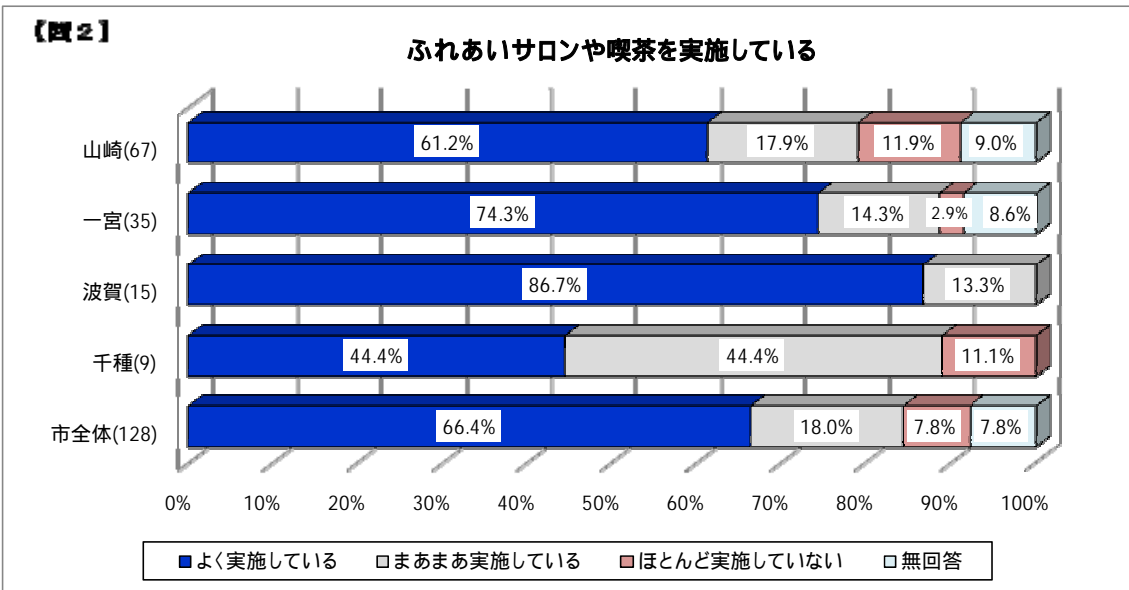
**【問4】** 自治会の福祉活動リーダーとして、福祉活動をすすめるにあたり、あなたの自治会の特徴や今把握している課題等お聞かせください。

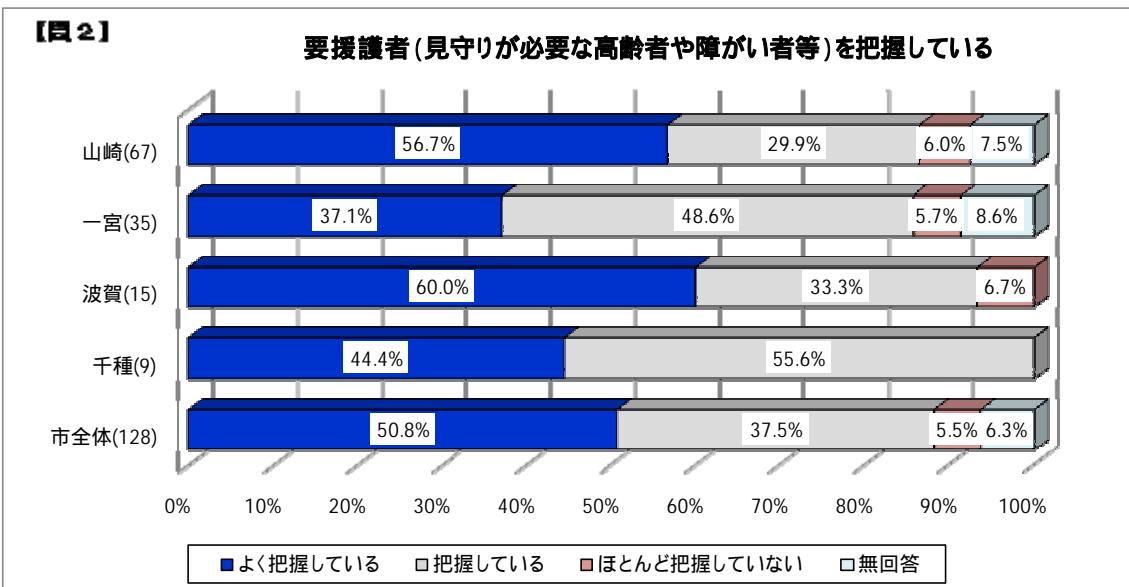
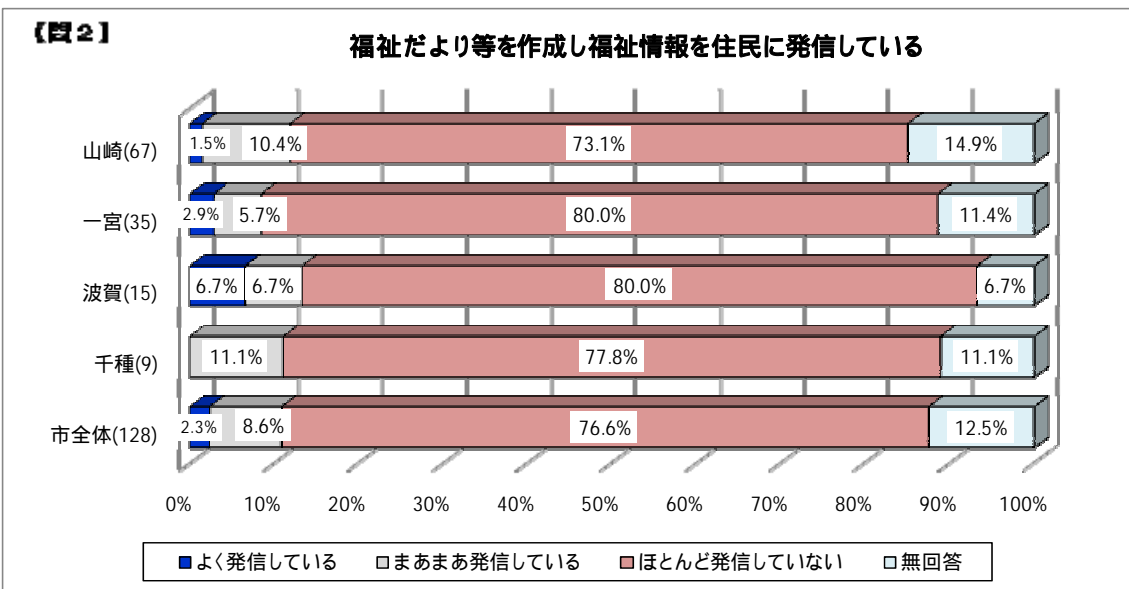
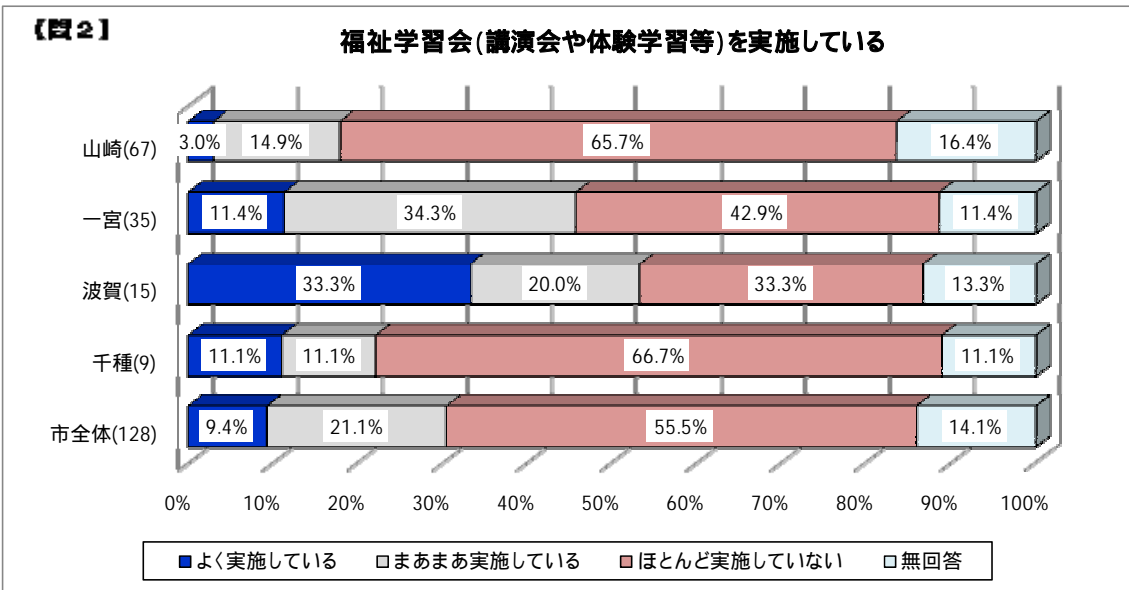
ご協力ありがとうございました

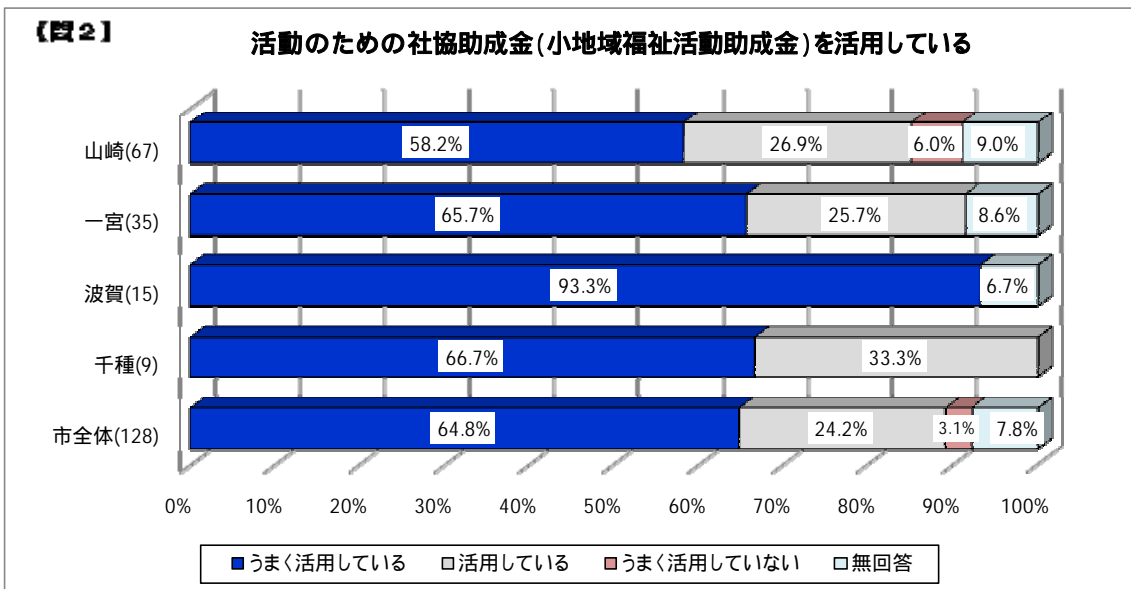
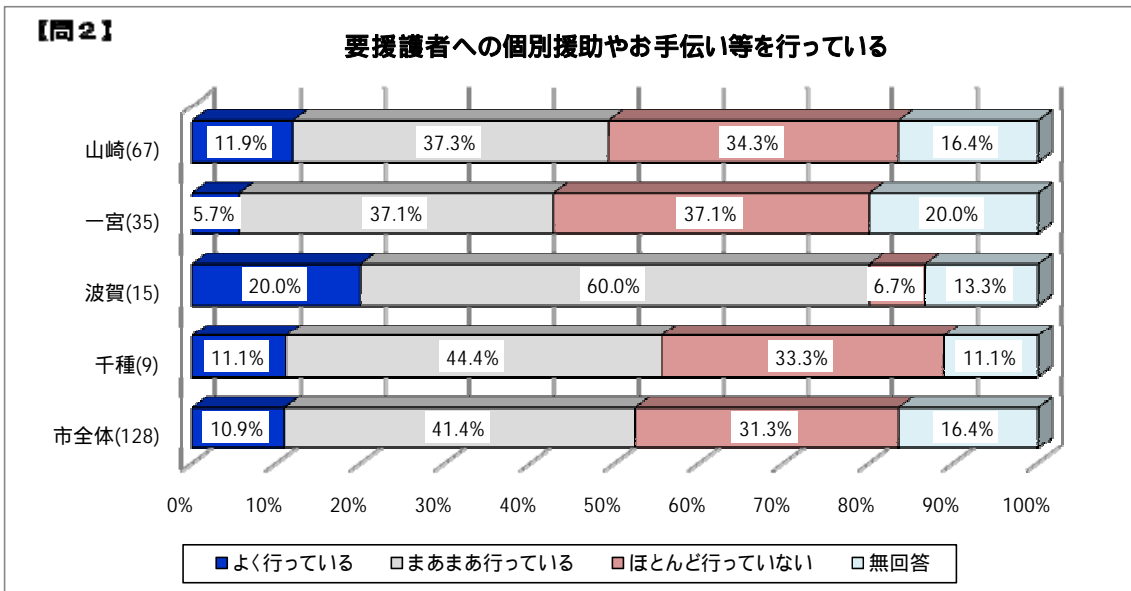
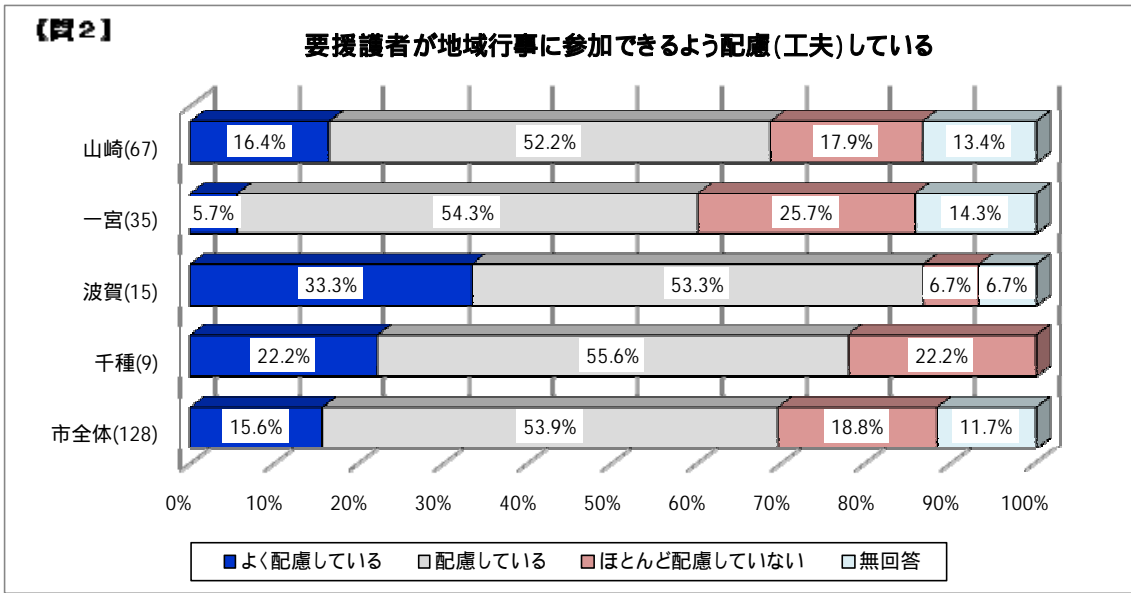
## 5. アンケート調査結果（設問ごとの集計）

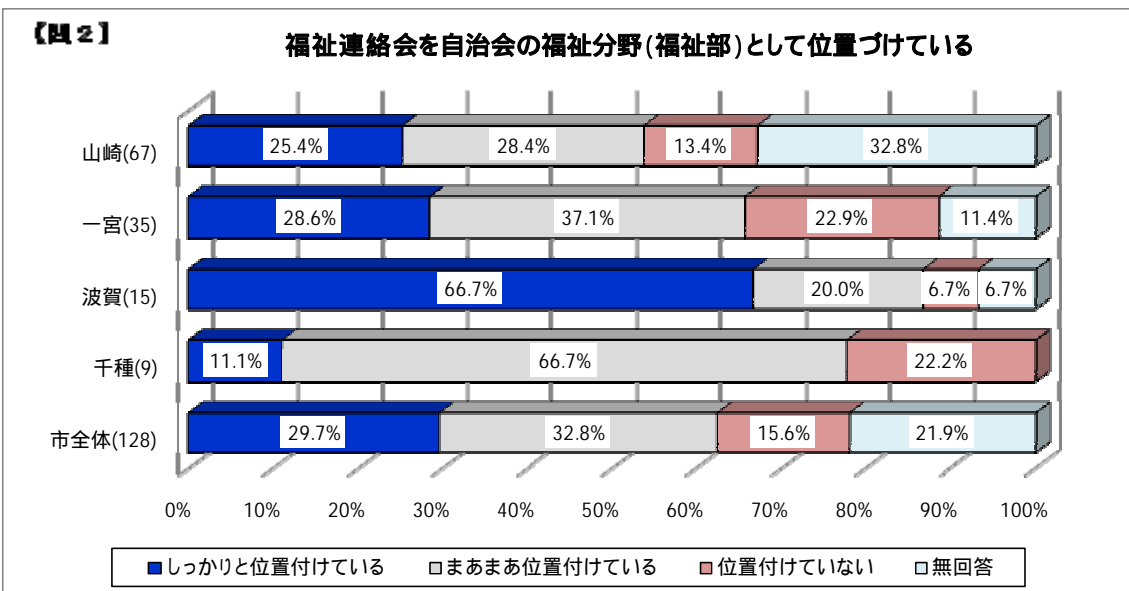
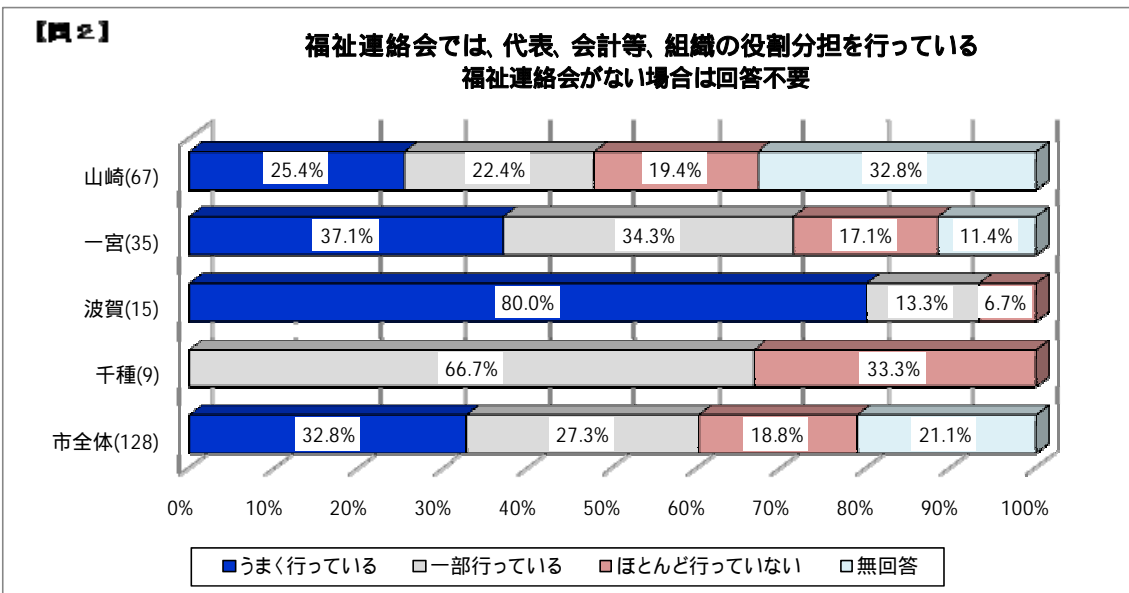
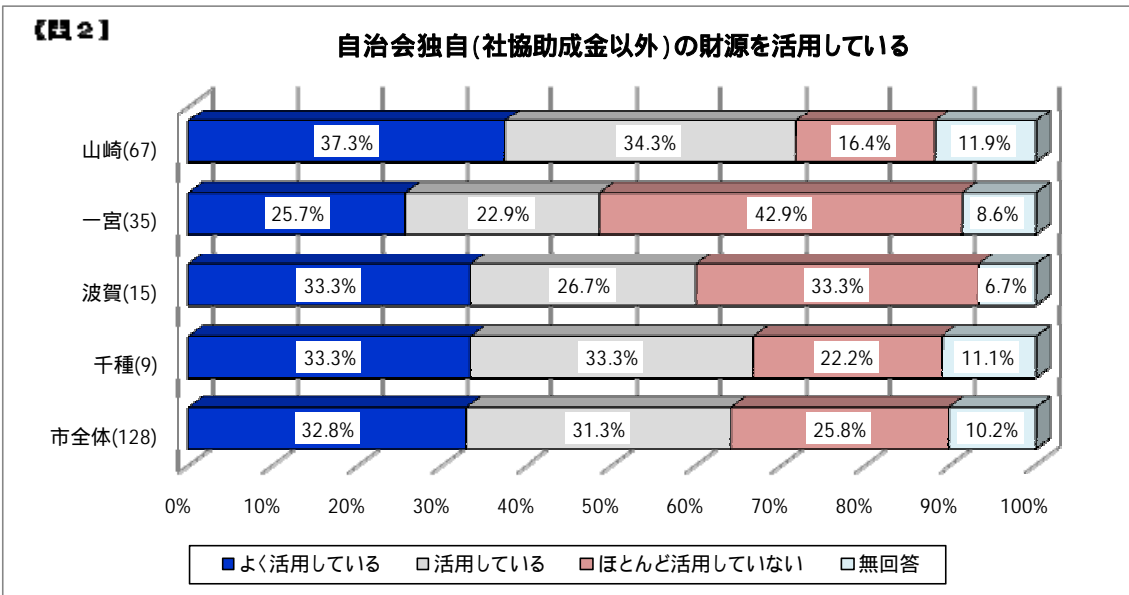


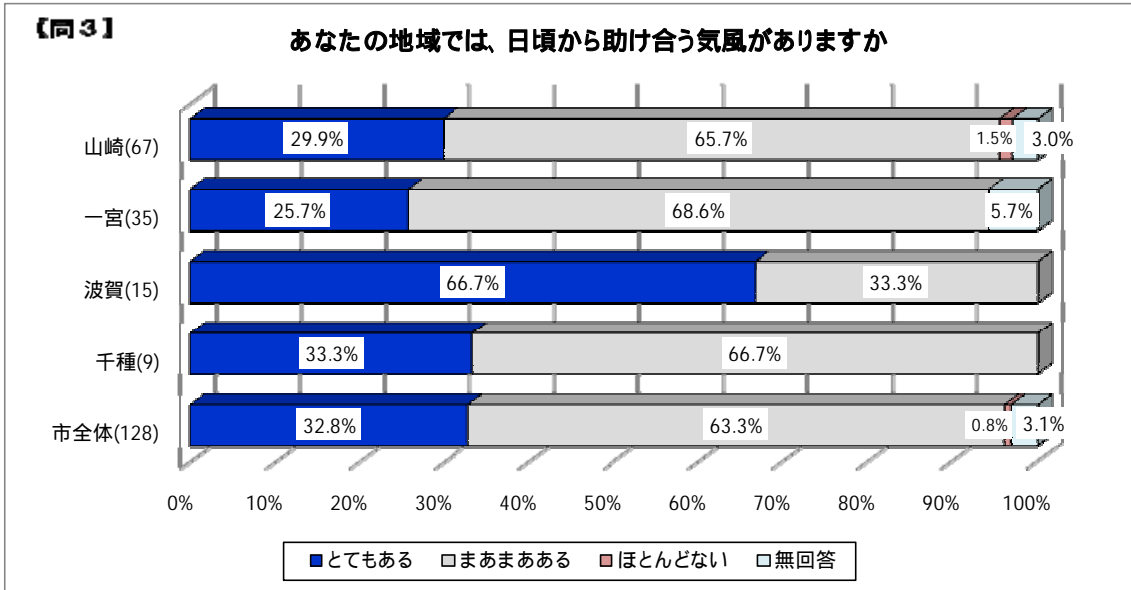












## 6. アンケート調査結果（各支部・市全体集計）

### 山崎支部集計

山崎支部	問1	問2 ( - )																問3	
	設置 福祉活動の中心 的推進者で構 成している「福祉 連絡会」を設 置している か	連携 自治会長や民生 委員、福祉委員 等が連携・連絡 をしながら活動 している	基本・交流活動								要援護者支援				活動費		組織		気風 あなたの地域では、 日頃から助け合う 気風がありますか
			行政や社協など と連携・連絡を 図っている	福祉問題や活動 について会議 を開催している	福祉活動の年間 計画を立てて 計画的な活動 をしている	見守りや声かけ 活動（安否確認 ）を実施している	ふれあいサロン や喫茶を実施 している	3世代交流活動 や子育て支援 活動を実施して いる	防災活動（避難 訓練等）を実 施している	福祉学習会（講 義会や体験学 習等）を実施 している	福祉だより等 を作成し福祉 情報を住民に 発信している	要援護者（見守 りが必要な高 齢者や障がい 者等）を把握 している	要援護者が地 域行事に参加 できるように 配慮（工夫） している	要援護者への 個別援助やお 手伝い等を行 っている	活動のための 地域福祉活動 助成金（小 外）の財源を 活用している	自治会独自（社 協助成金以 外）の財源を 活用している	福祉連絡会 として代表 ・会計 している	福祉連絡会を 自治会の福祉 分げとして 位置づけ ている	
うまく行われている	47 70.1%	35 52.2%	11 16.4%	9 13.4%	21 31.3%	21 31.3%	41 61.2%	12 17.9%	21 31.3%	2 3.0%	1 1.5%	38 56.7%	11 16.4%	8 11.9%	25 37.3%	17 25.4%	17 25.4%	20 29.9%	
まあまあ行われている	8 11.9%	24 35.8%	29 43.3%	25 37.3%	24 35.8%	35 52.2%	12 17.9%	20 29.9%	24 35.8%	10 14.9%	7 10.4%	20 29.9%	35 52.2%	25 37.3%	18 26.9%	23 34.3%	15 22.4%	19 28.4%	44 65.7%
ほとんどない	12 17.9%	3 4.5%	18 26.9%	23 34.3%	13 19.4%	4 6.0%	8 11.9%	24 35.8%	13 19.4%	44 65.7%	49 73.1%	4 6.0%	12 17.9%	23 34.3%	4 6.0%	11 16.4%	13 19.4%	9 13.4%	1 1.5%
無回答	0 0.0%	5 7.5%	9 13.4%	10 14.9%	9 13.4%	7 10.4%	6 9.0%	11 16.4%	9 13.4%	11 16.4%	10 14.9%	5 7.5%	9 13.4%	9 13.4%	6 9.0%	8 11.9%	22 32.8%	2 3.0%	2 3.0%

回収数 67 自治会 (全85自治会)      回収率 78.8%

### 一宮支部集計

一宮支部	問1	問2 ( - )																問3	
	設置 福祉活動の中心 的推進者で構 成している「福祉 連絡会」を設 置している か	連携 自治会長や民生 委員、福祉委員 等が連携・連絡 をしながら活動 している	基本・交流活動								要援護者支援				活動費		組織		気風 あなたの地域では、 日頃から助け合う 気風がありますか
			行政や社協など と連携・連絡を 図っている	福祉問題や活動 について会議 を開催している	福祉活動の年間 計画を立てて 計画的な活動 をしている	見守りや声かけ 活動（安否確認 ）を実施している	ふれあいサロン や喫茶を実施 している	3世代交流活動 や子育て支援 活動を実施して いる	防災活動（避難 訓練等）を実 施している	福祉学習会（講 義会や体験学 習等）を実施 している	福祉だより等 を作成し福祉 情報を住民に 発信している	要援護者（見守 りが必要な高 齢者や障がい 者等）を把握 している	要援護者が地 域行事に参加 できるように 配慮（工夫） している	要援護者への 個別援助やお 手伝い等を行 っている	活動のための 地域福祉活動 助成金（小 外）の財源を 活用している	自治会独自（社 協助成金以 外）の財源を 活用している	福祉連絡会 として代表 ・会計 している	福祉連絡会を 自治会の福祉 分げとして 位置づけ ている	
うまく行われている	29 82.9%	19 54.3%	6 17.1%	8 22.9%	15 42.9%	8 22.9%	26 74.3%	9 25.7%	5 14.3%	4 11.4%	1 2.9%	13 37.1%	2 5.7%	2 5.7%	23 65.7%	9 25.7%	13 37.1%	10 28.6%	9 25.7%
まあまあ行われている	2 5.7%	13 37.1%	15 42.9%	12 34.3%	10 28.6%	21 60.0%	5 14.3%	12 34.3%	15 42.9%	12 34.3%	2 5.7%	17 48.6%	19 54.3%	13 37.1%	9 25.7%	8 22.9%	12 34.3%	13 37.1%	24 68.6%
ほとんどない	4 11.4%	0 0.0%	10 28.6%	11 31.4%	6 17.1%	2 5.7%	1 2.9%	10 28.6%	10 28.6%	15 42.9%	28 80.0%	2 5.7%	9 25.7%	13 37.1%	0 0.0%	15 42.9%	6 17.1%	8 22.9%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	3 8.6%	4 11.4%	4 11.4%	4 11.4%	4 11.4%	3 8.6%	4 11.4%	4 11.4%	5 14.3%	4 11.4%	3 8.6%	5 14.3%	7 20.0%	3 8.6%	3 8.6%	4 11.4%	4 11.4%	2 5.7%

回収数 35 自治会 (全39自治会)      回収率 89.7%

## 波賀支部集計

波賀支部	問1		問2 ( ~ )														問3		
	設置	連携	基本・交流活動							要援護者支援				活動費			組織		気風
			福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	
うまく行われている	14	12	8	7	11	10	13	6	5	5	1	9	5	3	14	5	12	10	10
	93.3%	80.0%	53.3%	46.7%	73.3%	66.7%	86.7%	40.0%	33.3%	33.3%	6.7%	60.0%	33.3%	20.0%	93.3%	33.3%	80.0%	66.7%	66.7%
まあまあ行われている	0	2	4	7	3	4	2	5	1	3	1	5	8	0	0	4	2	3	5
	0.0%	13.3%	26.7%	46.7%	20.0%	26.7%	13.3%	33.3%	6.7%	20.0%	6.7%	33.3%	53.3%	60.0%	0.0%	26.7%	13.3%	20.0%	33.3%
ほとんどない	1	0	2	0	0	0	0	3	7	5	12	1	1	1	0	5	1	1	0
	6.7%	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	46.7%	33.3%	80.0%	6.7%	6.7%	6.7%	0.0%	33.3%	6.7%	6.7%	0.0%
無回答	0	1	1	1	1	1	0	1	2	2	1	0	1	2	1	0	1	0	0
	0.0%	6.7%	6.7%	6.7%	6.7%	6.7%	0.0%	6.7%	13.3%	13.3%	6.7%	0.0%	6.7%	13.3%	6.7%	0.0%	6.7%	6.7%	0.0%

回収数 15 自治会 (全20自治会) 回収率 75.0%

## 千種支部集計

千種支部	問1		問2 ( ~ )														問3		
	設置	連携	基本・交流活動							要援護者支援				活動費			組織		気風
			福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	
うまく行われている	8	4	0	1	3	3	4	1	3	1	0	4	2	1	6	3	0	1	3
	88.9%	44.4%	0.0%	11.1%	33.3%	33.3%	44.4%	11.1%	33.3%	11.1%	0.0%	44.4%	22.2%	11.1%	66.7%	33.3%	0.0%	11.1%	33.3%
まあまあ行われている	0	5	6	5	5	5	4	2	5	1	1	5	5	4	3	3	6	6	6
	0.0%	55.6%	66.7%	55.6%	55.6%	55.6%	44.4%	22.2%	55.6%	11.1%	11.1%	55.6%	55.6%	44.4%	33.3%	33.3%	66.7%	66.7%	66.7%
ほとんどない	1	0	3	2	1	1	1	5	1	6	7	0	2	3	0	2	3	2	0
	11.1%	0.0%	33.3%	22.2%	11.1%	11.1%	11.1%	55.6%	11.1%	66.7%	77.8%	0.0%	22.2%	33.3%	0.0%	22.2%	33.3%	22.2%	0.0%
無回答	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%

回収数 9 自治会 (全13自治会) 回収率 69.2%

## 宍粟市全体集計

宍粟市全体	問1		問2 ( ~ )														問3		
	設置	連携	基本・交流活動							要援護者支援				活動費			組織		気風
			福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	福祉活動の中心 的推進者で 成っています 「福祉 連絡会」を 設置 しています か	
うまく行われている	98	70	25	25	51	43	85	28	35	12	3	65	20	14	83	42	42	38	42
	76.6%	54.7%	19.5%	19.5%	39.8%	33.6%	66.4%	21.9%	27.3%	9.4%	2.3%	50.8%	15.6%	10.9%	64.8%	32.8%	32.8%	29.7%	32.8%
まあまあ行われている	11	45	55	49	42	66	23	41	46	27	11	48	69	53	31	40	35	42	81
	8.6%	35.2%	43.0%	38.3%	32.8%	51.6%	18.0%	32.0%	35.9%	21.1%	8.6%	37.5%	53.9%	41.4%	24.2%	31.3%	27.3%	32.8%	63.3%
ほとんどない	19	3	33	36	21	7	10	42	31	71	98	7	24	40	4	33	24	20	1
	14.8%	2.3%	25.8%	28.1%	16.4%	5.5%	7.8%	32.8%	24.2%	55.5%	76.6%	5.5%	18.8%	31.3%	3.1%	25.8%	18.8%	15.6%	0.8%
無回答	0	10	15	18	14	12	10	17	16	18	16	8	15	21	10	13	27	28	4
	0.0%	7.8%	11.7%	14.1%	10.9%	9.4%	7.8%	13.3%	12.5%	14.1%	12.5%	6.3%	11.7%	16.4%	7.8%	10.2%	21.1%	21.9%	3.1%

回収数 128 自治会 (全157自治会) 回収率 81.5%

(内2自治会については自治会名が  
無記入のため支部集計とは対象外)

## 7. アンケート調査まとめ

支部	【問1・2】福祉連絡会の設置および活動	【問3・4】日頃から助け合う気風や課題等
山崎	<p>福祉委員の設置が広がりを見せている(複数設置が増えてきた)</p> <p>福祉連絡会の設置が7割と進んでいる(組織はないが連携して取組んでいる自治会が8自治会あった)</p> <p>各自治会少数の福祉委員であり、自治会全体で協力しながら福祉活動を進めていかなければならない現状も考えられる</p> <p>自治会長がリーダーとして活動を進めている連絡会が多い</p> <p>民生委員と福祉連絡会の活動エリアの違い(連携が図れない自治会も)</p>	<p>組織はないが関係者が連携して取り組んでいる(福祉連絡会の未設置)</p> <p>少子高齢化(活動の縮小、継続、担い手)</p> <p>活動拠点場所の確保(公民館のない自治会も)</p> <p>新規加入者やアパート住民との交流(コミュニケーション)</p> <p>把握や支援の壁(個人情報保護法やプライバシー)</p> <p>話し合いの場の充実(福祉問題等共有が大切)</p> <p>要援護者への支援と関わり(どのようにすれば・・・)</p> <p>世代を越えた交流の場づくり</p>
一宮	<p>一宮支部が一番高い回収率となり多くの意見をいただいた(89.7%)</p> <p>出来ていると思われる部分も厳しい調査結果となった</p> <p>8割以上の自治会が福祉連絡会の設置を進めているが福祉部としてはまだまだ定着していない(32%)</p> <p>ふれあい活動を定期的に行っている自治会が多い(活動頻度の多い自治会が多数あった)</p> <p>要援護者への配慮をしっかりと実践している自治会が特に少ない(7%)</p>	<p>福祉連絡会の設置の気運が生じてこない(未設置)</p> <p>役を経験した人は参加意識が高い、関心も生まれる</p> <p>災害を通じて地域のつながりを確認</p> <p>障がい者福祉施設との交流(1自治会)</p> <p>少子高齢化による住民のアンバランスが活性化のブレーキ</p> <p>災害時等自治会全体の状況把握が困難(集落が川により二分)</p> <p>ふれあい喫茶での参加者やボランティアの確保</p> <p>民生委員等との連携(ふれあい喫茶のための福祉委員ではない)</p> <p>ふれあい活動での企画・運営(プログラム)</p>
波賀	<p>全体的にうまく行われているといった回答が多く意識の高さを感じる</p> <p>点検結果から連絡会が主体となり活動を展開していることが伺える</p> <p>福祉連絡会の設置が進み福祉部として定着している(71%)</p> <p>多くの連絡会で組織の役割分担がしっかりできている(80%)</p> <p>社協助成金を全自治会うまく活用(100%)</p> <p>助け合う気風が自治会全体で高まっている結果に(67%)</p>	<p>世代の違い関係なく様々な活動に積極的</p> <p>ふれあい喫茶から新たな取組み(男性のつどい、女性のつどい)</p> <p>行事、活動の継続</p> <p>自治会の気風で遠慮がちな所も(1自治会)</p> <p>代表としてのとりまとめに苦勞(隣保数(19)が多い)</p> <p>プライバシーについて構成員の考えの違いで内容が深まらない</p> <p>高齢化と世帯数減少(行事への参加協力、見守り・声かけの配慮が足りない)</p>
千種	<p>千種支部が一番低い回収率となった(69.2%)</p> <p>福祉連絡会の設置は9割とかなり進んでいる</p> <p>福祉連絡会や福祉委員の歴史が浅いことが回答結果にでている</p> <p>福祉活動リーダーの位置づけが不明確(福祉委員の存在)</p> <p>行政や社協等との連携がまだまだ図れていない(0%)</p> <p>ふれあい活動をうまく運営している自治会が少ない結果に(44%)</p>	<p>昔から助け合いをしており、わざわざ福祉連絡会を設置する必要がない</p> <p>喫茶ボランティアによる熱心な活動(要援護者への呼びかけや配慮が行き届いている)</p> <p>集落が長く声かけしてもなかなか集まらない(地形の問題)</p> <p>行事に参加されない方への配慮と参加促進</p> <p>活動リーダーのあり方(その時のリーダーの考えで活動に温度差がある)</p> <p>福祉委員の担い手問題(隣保長につとめてほしい)</p> <p>高齢化が進む中での防災への対応</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> <b>全体のまとめ</b>  <b>( ) は社協の課題</b> </p>	<p>旧町社協からの歴史もあり福祉意識の高さや現状が結果にでている</p> <p>アンケート内容が難しかったようだったが思った以上に記入があった</p> <p>回答が“ × ”の三択だったこともあり“ ”に集中した</p> <p>回答については、記入者の意識により大きくかわり、詳しい内容まではこの調査で分からない(福祉連絡会の位置づけが様々)</p> <p>行政や社協など専門機関との連携がまだまだ図れていない</p> <p>話し合いの場を定期的に持っていない(社協のアプローチも足りない)</p> <p>話し合いの場が充実しなければ計画立案も充実しない</p> <p>ふれあい活動は各自治会自信を持った回答に(事業報告書とも同数値)</p> <p>学習の場や住民への情報発信など福祉意識を高める活動が出来ていない</p> <p>要援護者の把握はできているようだが次の一歩が進んでいない</p> <p>地域の実態を踏まえた活動推進や提案ができていない(社協)</p> <p>アンケート結果を福祉連絡会や社協職員にかえず次に生かす</p>	<p>福祉活動を進めて行く上で自治会全体の協力が必要である</p> <p>住民だれもが参加できる仕組みや体制づくり</p> <p>男性、若年層、無関心な人へのアプローチ(参加促進)</p> <p>要援護者への呼びかけと配慮(行事、情報等)</p> <p>災害等の経験から防災への意識が高まりつつある</p> <p>ふれあいサロン・喫茶の更なる推進(見守りの要素や新たなメニューの開発)</p> <p>個人情報やプライバシーとどう向きあうのか大きな課題</p> <p>各自治会への福祉連絡会の必要性や働きかけ(地域の実態にあった組織づくり、組織化のモデル提案、住民福祉座談会の開催)</p> <p>社協職員のなかで福祉連絡会や福祉委員についての共有</p> <p>福祉委員や福祉連絡会、助成金等のあり方検討(要綱の見直しと作成)</p> <p>福祉委員の養成と研修(福祉委員として何を取り組めばよいのか 活動マニュアルの作成)</p> <p>福祉連絡会の構成員全体への学習の場と理解(研修会等)</p> <p>各自治会の定期的な小地域福祉活動の点検(アンケート調査の実施)</p>
---	---	---

宍粟市社協では、平成23年2月20日(日)宍粟防災センターにおいて、「第3回宍粟市地域福祉のつどい」を開催しました。

当日の参加者に、つどいの感想や地域福祉活動や社協に対する思いを記入いただきました。

## 第3回宍粟市地域福祉のつどい アンケート

本日は、『第3回宍粟市地域福祉のつどい』にご参加いただき、ありがとうございました。

今後のつどいの参考にしたいと思っておりますので、お手数ですが、アンケートへのご協力をよろしくお願いたします。(該当する番号に をつけて下さい)

1. 本日お配りした資料はいかがでしたか。

大変よかった      よかった      ふつう      よくなかった

2. 基調報告の内容を聞いて、地域福祉についての理解を深められましたか。

大変よくわかった      わかった      あまりわからなかった      わからなかった

3. フォーラムの内容を聞いて、地域福祉活動に関心を持ち実践しようと思いましたか。

大いに思った      思った      あまり思わなかった      思わなかった

4. 本日の「つどい」全体の評価をお願いします。

大変よかった      よかった      ふつう      よくなかった

5. 本日のつどいに参加されて、どのようにお感じになりましたか。

会場で発言できなかったこと、また社会福祉協議会へのご意見、お気づきのことがありましたら、自由にご記入ください。

お帰りの際に受付のアンケート回収箱に投稿ください。ご協力ありがとうございました。

社会福祉法人宍粟市社会福祉協議会

## 第3回宍粟市地域福祉のつどいアンケートの結果

参加者 300人
アンケート回収数 95 (他に無記入1枚あり) 回収率32%

1. 本日本配りした資料はいかがでしたか。

大変よかった	よかった	ふつう	よくなかった
18	57	19	1

2. 基調報告の内容を聞いて、地域福祉についての理解を深められましたか。

大変よくわかった	わかった	あまりわからなかった	わからなかった
21	68	6	0

3. フォーラムの内容を聞いて、地域福祉活動について関心を持ち実践しようと思いましたが。

大変よくわかった	わかった	あまり思わなかった	わからなかった
28	60	3	0

4. 本日の「つどい」全体の評価をお願いします。

大変よかった	よかった	ふつう	よくなかった
29	56	8	1

5. 本日のつどいも含めて、どのようにお感じになりましたか。

会場で発言できなかったこと、また社会福祉協議会へのご意見、お気づきのことがありましたら、自由にご記入ください。

<つどいの感想>

- ・郡部（北部）の切実な現状がよく分かった。
- ・オープニングのオカリナの演奏は優しくあたたかい気持ちが伝わってくるたいへん素晴らしいものでした。
- ・藤井先生のお話はわかりやすく理解しやすいお話でした。またパネルディスカッションでは、現実の地域の状態を聞くことが出来、色々と考えさせられる話がたくさん出来ました。自分の立場、地域での立場から出来ることを考えていきたい。また社協がよいパイプ役となり、提案、相談、預託金等の活用の中を広げる大変よいディスカッションであったと感じました。アクションを起こされることを期待します。また社協だけでなく、行政とともに力を合わせた活動が必要だと思いました。
- ・私の地域では、福祉連絡会をふれあい喫茶、...子ども達の「宝」を一緒にふれあいをしました。今年も1カ月ほどになりましたが、来年も今日の講演を生かしていきたいと思いました。
- ・どの地域でも過疎が進み、高齢化が進んでいると思いました。人と人とのコミュニケーションも少ないように思います。現在の課題は見えてきたかと思いますが、今後の解決策はなかなかむづかしいと思いました。

- ・今と昔の暮らしを考えた時、横のつながり、たてのつながりがあり、昔の生活に安心感のようなものがありました。でも今は、核家族、自己中心、人は人、そんな感じがします。今後の生活に不安を感じています。一人ひとりが思いやりを持って生活でできることを希望します。
- ・よかったです。藤井博志先生ありがとうございます。またあいさつありがとうございます。よかったです。
- ・地域福祉がいかに大切であるか、資料説明でよくわかりました。一人ひとりが高齢になり、いつかは障害になり、社協には絶対お世話になります。その為に元気な若い時にボランティアとか善意銀行とか今、出来ることをしたいと思いますが、仕方(大きくするのではなく)自治会で小さなグループを作り、参加できる人をより多く出来るよう社協さんの声かけ、もっともっと地域で協力(ボランティア)して下さる人を増やせば...理想です。
- ・地域のつながりが大切だと思いました。
- ・宍粟市の現状を紹介されましたが、負の側面のみ多く語られました。高齢化は否めない状況。そこからどう取り組むのか、将来の展望を語ってほしい。類似市町はどのように取り組んでいるのか、発表してほしい。
- ・具体的な提言が欲しい。宍粟市の現状把握はできている、フォーラムでは経験者のベテランでいい話がでていた。方法についても地域に密着した手法が聞け、良かった。
- ・非常に良かった。
- ・少子高齢化を言いだして宍粟市も久しい。日頃から「困ったな」学校までなくなって、今後どうなるのだろうと思っても、深く考えること(それじゃ私はこのことは出来るから協力しないと...)と踏み込むところまで思えないか、今は出来たが、今日の事は大人?になった感さえ。4人のパネラーの皆さんにたくさん教えられた。その通り皆で考え、実行しなければ。このまま老いてしまいたくない。
- ・みなさんの話を聞いて、何か一つでも活動できたらな...と感じました。
- ・フォーラムでコミュニケーションが昔に比べればとれていないとのこと。確かに何かが起こらなかつたらなかなか近所の事でも知らないことが多い。行事があっても参加者が少ない。昔だと声かけ合って行こかえとかいつも誘い合ってどこにでも行っていたが、今はない。入院されていても遅くから知ることが多い。今の月1回のふれあい喫茶はとてもよいと思います。もっと多くの人に参加してほしい。顔を見ることで様子がわかるので。
- ・地域の誰もが必要な人である私の地域でありたいと思いました。
- ・自分の近い将来の話としてききました。
- ・山崎町ではわからなかった山間部での不便、特に交通の便では通院買物が困難なことがよくわかった。

- ・社協の行事の中で大きな柱の行事と思いますが、会場が狭くて大変よいフォーラムや企画であっても会場を文化会館で実施してほしかった。他の行事と重複していたようですが、この行事の企画をした時点で会場を検討してほしかったです。フォーラムは身近な問題提議で大変よかったです。
- ・資料の内容はよいのですが、バラバラだったのでどの資料の説明がよくわからなかった。順序を資料に書くなり、説明の時どの資料についてのお話か前置きが少なく、せっかくの資料が充分活用出来ていない。
- ・少ない人口であっても、地域ごとのつながりを強く持って暮らしたい。ふるさとに住み続けるために「向こう3件両隣」つかず離れずのつきあいは日本的であるけど、それがいいと思う。
- ・若い人達は仕事に一生懸命だし、横のつながりもたてのつながりもなくなりつつあるように私の所では思う。自己中心的な考え方が多くなってきている様に思うので、私達が何とか考えないといけないのではと今日の話を書きいて思いました。
- ・最近ほんとに寄り合いがなくなりました。いい話を聞かせていただきました。
- ・いろんな課題がたくさん出てとてもよい勉強になりました。
- ・来るべき超高齢化社会の到来を想像すると背筋が寒くなりました。何とかどこかで歯止めをかけないと沈没しそうな気がします。
- ・どの地域も大変だと思いました。良い方向に行くように暮らしたい。
- ・スライドを通して説明をお聞きしましたが、資料に記載してありましたので、重大なポイントを揚げてほしかった。時間が長いように思いました。せめて2時間以内で終わるようにしてほしかったです。でも福祉について、良い研修を得ることができました。ありがとうございました。
- ・パネルディスカッションは、パネラーの顔が全員に見えるようにステージを高くする等の工夫をしてほしい。どの地域も高齢者の問題が大部分で「暮らしづらい人」の対象は高齢者だけのように思いました。社会の弱者、例えば障害のある人の話も提案してはと思います。
- ・前進すること、やってみること、楽しみを見つけること。ありがとうございました。
- ・行政の力ではすみずみまで届かないサービスを社協が救ってくださるのは本当にありがたいです。ボランティアを募りながら、これからも新しいニーズに応えにサービスを提供してください。残念だったのは、フォーラムの時にたくさんの方が抜け出されたことです。一番よかったのがフォーラムでした。町づくりの参考になりました。本日は本当に有難うございました。
- ・高齢化が悪いことではなく、長生きできる世の中になったという良いことであると藤井先生がいわれ、今までの政策が三世代家族をモデルとしていたのが、今の社会に合わなくなってきている。これを変えていることが必要といわれたことが印象に残った。国全体よりも少子高齢化がすすみ、単身世帯が多い宍粟市は、この社会に対応した施策が必要と思うが、宍粟市が国よりすすんだ施策をしているとは思えない。社協や地域福祉活動を推進する住民でできることを考えていくことは、共助としてやっていくけれど、市（行政）が住民の福祉や教育に責任を持つ意気込みをみせてほしい。千種や波賀での幼保一元化を私立の法人にまかせようとしていることに不安を感じています。子育て

てしやすい宍粟市という施策をすすめ、少子化に歯止めをかけ、若い世代が帰ってくるようにしてほしい。

- ・市長様や来賓の早い退出はおかしいのでは。最後までおるべきだと思う。
- ・各地区（一宮、波賀、千種）の状況を聞くと、共通の問題点が多く感じました。それぞれの地域の地域性を生かすことが重要である。地域の新しいつながりのカタチを行動で示さなければならない。できれば年度の初めに開催していただきたい。
- ・少子高齢化の問題は宍粟市はもとより日本国全体の問題であると思う。経済がもっと上向きとなり就職できて人並みの生活が出来るようにならなければ宍粟市の未来はないと思う。経済の活性化をもっと積極的にやらなければ将来はない。
- ・フォーラムまで案外時間がかかり、小休憩もあったためかフォーラム開始までに席を立たれた人が多いように思いました。しかしパネラーの方々には要旨を簡潔にまとめ、地域の実態、今困っている事など話され、大変良く分かりました。分かり過ぎ、宍粟、特に北部の実態に不安を覚えました。本当に何かよい手だてはないのでしょうか？大都市（東京）中心の清治を列島改造してくれる政治家が現れてほしい。
- ・宿題をもらった感じ。頑張らねば～。
- ・各地区のこれからの問題点がお話の中でよくわかりました。
- ・民生委員として初めて参加させて戴き、各地域で熱心に取り組まれている様子がよくわかりました。又、過疎の地域の困っておられることもよくわかりました。ご提案のように、地域、近所、向こう三軒両隣の支え合いが一番大切だと思います。講師先生のお話もとても適切でわかり易かったです。

#### < 地域福祉活動について >

- ・あらためて自分に出来ることは何かと考えました。自宅を集まる場にしたり、買物の手伝いを出来ると思いました。
- ・地域の役員等についていやがらずに、いい意味合いを持ってやっっていこうと思いました。
- ・私の所は、皆協力してくれるので大変やりやすいと思いました。これからも皆に声をかけて助け合っていきたいと思います。
- ・地域で集いたくさんのことを学んできました。今その機会が大変少ないです。大変なことも積み重ねることが力となり、人とのつながりになる。そういう場を若い人に伝えたいです。今は自分のことで精一杯です。いろんな人とかかわることが大切です。若い時イヤな集いも今はよかったと思っています。若い人にいい場の提供と地域で取り入れたいですね。子どもたちに地域のよさをどんどん伝えましょう。
- ・情報を共有でき、地域の特性を保ちつつ、地域に合った福祉活動をしていくことが大切であり、時代に合ったニーズにあった活動を少しずつ計画して実行していきたい。

- ・一人ひとり性格が違う上で助け合い、助け合いと進めようとしてもなかなか真の交流が出来ないのが実情。住民同士が周囲の住民環境に注意しながら進めていけば、少しでも福祉活動が進んで行くのではないのかな？
- ・自治会で今年度計画はできたが、計画どおり実施できなかったのもので、次年度はもっと積極的に実施し、満足できるように頑張りたい。
- ・地域福祉の必要性（特に宍粟市、自治会が何をすべきか、社協がどう協力していくか）を感じた。今何をやらねばならないか、問題点の先送りはできない。
- ・100戸ほどの自治会であるが、やはり高齢者が増え青少年が少なくなっており、若者の里帰りは考えられない。農業にしても農業離れで、荒地が増加しつつあり、集団営農等を考えつつある。独居老人の世話等近所でしているが、どこまで世話ができるのか？声かけ、安全、弁当配り程度で限界のように思う。
- ・地域内での声かけの大切さを思いました。

#### < 今後取り組んでほしいこと >

- ・学校統廃合に伴う、スクールバスと地域バス（買物弱者、病院）等地域交通の活性を考えてほしい。
- ・高齢者も増え介護認定者も増えている中で地域での支援精神ボランティアが必要と思います。

#### < 社協への意見 >

- ・社会福祉協議会のこれからの福祉活動が地域の活性化に大きな役割となるが、自治会へ出向き、福祉活動の重要性をもっと説明し、理解をしてもらうことが必要である。
- ・社協は地域へ足を運んで将来の課題解決策の構築に向けて手助けしてほしい。
- ・地域福祉連絡会に個人情報保護法が邪魔にならないよう配慮してほしい。情報の共有が出来るようにすること。
- ・社協への参入が多くある意見を聞いて、社協も今までとちがう取り組みが必要でないかと思う。
- ・新たに社協に与えられた役割が見えた気がします。職員として出来ることを考えないと！力を合わせて福祉に取り組みたいです。方法を教えていただいたり、チームに入れてもらえれば一生懸命取り組みたいと思いました。
- ・地域福祉活動として実施しております“ふれあい喫茶”に対する助成金を継続して実施していただきたい！！食材費等の助成。
- ・宍粟市は地域が広すぎて、まとめることはむずかしいですが、やはり何とかしなければなりません。社協の方々のリードで少しでも安心して住める町づくりを希みます。

## 用語解説 (初出のページを掲載しています)

### NPO (Non Profit Organization) P 3

ボランティア活動などの社会貢献活動を行う、営利目的としない団体の総称。「NPO 法人」とは、特定非営利団体活動促進法 (NPO 法) に基づき法人格を取得した「特定非営利活動法人」の一般的総称。法人格の有無を問わず、様々な分野 (福祉、教育・文化、まちづくり、環境、国際協力) で、社会の多様化に対応したニーズに応える重要な役割を果たすことが期待されている。

### OJT (On the Job Training) P 2 2

職場での実務を通じて行う従業員の企業内教育や・教育訓練手法のひとつで仕事を通じて必要な知識・技術・態度などを計画的・継続的に指導し、業務能力や力量を育成する。  
お達者クラブ

介護予防普及啓発事業として宍粟市から委託を受け宍粟市社会福祉協議会が実施している介護予防通所サービス事業の呼び名。

### 外出支援サービス P 4 6

高齢者や障がい者の通院や公共施設への外出のために宍粟市が社会福祉協議会や民間業者に委託して実施している事業。利用者は、市役所・市民局に申請し、利用が認められた方には利用券が発行される。

### 協働 P 1 6

立場の異なる団体・組織の人相互が、対等な関係のもと、同じ目的・目標のために、役割を明確にし、連携・協力して働き、相乗効果を上げようとする取り組みのこと。

### 暮らしのセーフティネット P 5 9

セーフティネットとは、サーカスの空中ブランコで落下してもけがをしないように張られている網を語源として、最近では経済、労働、福祉の分野などで使われる。すべての人がその人らしく安心・安全に生活できるように、地域の中で網の目のようにきめ細かい生活支援の仕組みを示す。

### グローバリゼーション P 2

社会的あるいは経済的な関連が、旧来の国家や地域などの境界を超えて、地球規模に拡大して様々な変化を引き起こす現象である。

### 権利擁護 P 1 2

自己の権利を表明する事が困難な寝たきりの高齢者や認知症の高齢者、障がい者の代わりに代理人が権利を代弁すること。Advocacy

### 高次脳機能障害 P 3

主に脳の損傷によって起こされる様々な神経心理学的症状。記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害などの認知障害等で脳の損傷部位によってでる症状が違う。

### コミュニティ P 3

地域住民が生活している場所。すなわち消費、生産、労働、教育、衛生・医療、遊び、

スポーツ、芸能、伝統行事に関わり合いながら、住民交互の交流が行われている地域社会。あるいはそのような住民の集団のこと。

#### コンプライアンス P 2 1

法令遵守。特に、企業や事業団体がルールに従って公正・公平に業務を遂行すること。

#### 災害救援マニュアル P 3 2

災害時において救援の方法についてまとめた手順書、宍粟市社会福祉協議会は平成19年5月に策定し、平成23年3月に改定した。

#### 自殺率 P 1 2

人口10万人あたりの自殺者数の割合。農村部は家族と同居する高齢者の自殺が目立ち「家族に迷惑をかけているという意識や、活躍の機会がない疎外感が影響している」と推測され、都市部では30～50歳代の離職者に目立ち、経済的要因が多い

#### 触法障害者 P 3

犯罪を犯した知的・精神障害者で障害が原因であると鑑定され、裁判で責任能力なしと判断され無罪になった者は、刑罰法令に「触れて」いるが、「犯罪者」とはいえないので「触法障害者」とよばれている。

#### センスアップセミナー P 3 0

より魅力的な男性・女性になるため、外見・内面トータルの自分磨きをする講座。

#### 多機能な相談所 P 3 0

身近な生活の中の困りごとから、福祉の制度や手続き等、ひとつの窓口で相談できる「暮らしの何でも相談所」。

#### 地域ケアシステム P 6 1 (総合体系図)

支援の必要な高齢者や障がい者が、在宅で暮らし続けるために公的な医療・福祉サービスのネットワークだけでなく、近隣住民福祉活動と連携した一体的、包括的な仕組み。

#### 地域包括支援センター P 3 6

保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーの専門職により、地域における「総合的な相談窓口機能」「介護予防マネジメント」「包括的・継続的マネジメント」「権利擁護事業」を行う機関で、介護保険制度の改正により新たに創設された。

#### 出会いサポートセンター事業 P 3 0

平成19年宍粟市の少子化対策事業の一つとして政策立案され宍粟市社会福祉協議会が受託している。少子化の大きな要因のひとつである晩婚化、未婚化の進行に対する取組みについて社会全体で結婚を応援するため、未婚の男女の新たな出会いを支援する事を目的として、「出会いの場づくり」や会員のスキルアップセミナー等に取り組んでいる。

#### 出前ふれあいサロン・お達者クラブ P 4 5

自治会の公民館やコミュニティセンターなど集まりやすい場所に職員が出向いておこなうふれあいサロンや、お達者クラブ。生活圏の地域に出向くことによって、出にくい方も参加できるようにするのがねらい。

#### ニーズ(福祉ニーズ) P 3

困りごとや要望のこと。利用者が困っていることや、利用者が援助してほしいこと、援

助者が援助を必要と考えること

ノーマライゼーション P 15

デンマークの知的障がい者の運動から始まった思想で、バンクーミッケルセンによって定義された。「正常化」と訳されることが多い。障がい者といえども一人の人間として人格が尊重され、一般の人々と対等で主体的な生活ができることを地域社会の中で保障しようとする人権・平等の考え方である。

発達障害 P 3

先天的な様々な要因によって主に乳幼期から幼児期にかけてその特性が現れ始める発達遅延である。発達障害には、しばしば精神・知能的な障害を伴う。

ふれあい喫茶 P 27

お茶（コーヒー等）をサービスする事が目的でなく、お茶を飲みながら交流を深める事を目的としている。

ふれあいサロン P 27

参加者でそれぞれの興味や関心に合わせて自由に話し合い、内容を決めて開催する。（手芸・健康体操・カラオケ・ゲーム等）

福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業） P 12

在宅で生活されている判断能力に不安のある高齢者や知的障がい者、精神障がい者などの方で、本人の利用意思が確認できる方が利用の対象です。サービスの内容は生活に必要な金銭の管理、通帳や印鑑、書類などを預かったり、福祉サービスを利用できるように援助する事業。本人と社会福祉協議会が利用契約を結び、専門員・担当職員と生活支援員がサービスを提供する。兵庫県では福祉サービス利用援助事業と呼んでいるが正式名は、日常生活自立支援事業である。

福祉有償運送 P 46

タクシー等の公共交通機関によっては要介護者、身体障がい者等に対する十分な輸送サービスが確保できないと認められる場合に、NPO、公益法人、社会福祉法人等が実費の範囲内であり、営利と認められない範囲の対価によって、乗車定員11人未満の自家用自動車を使用して会員に対して行うドア・ツー・ドアの個別サービスである。

福祉連絡会 P 14

高齢者等の地域での見守りネットワークや、地域の福祉課題を話し合い解決するしくみとして、地域住民が協力して取り組む小地域福祉活動の拠点のこと。

リーマン・ショック P 3

2008年（平成20年）9月に米国の投資銀行であるリーマン・ブラザーズが破綻したことで、世界的な金融危機の引き金となった。それに続く金融危機や不況などを含めて使われる。

ワーキングプア P 3

正社員並み、あるいは正社員としてフルタイムで働いてもギリギリの生活さえ維持が困難、もしくは生活保護の水準にも満たない収入しか得られない就労者の社会層のことである。直訳では「働く貧困層」と解釈される。

## 計画策定の経緯

### 策定委員会

開催日		主な協議事項	出席者	会場
第1回	22年 8/6(金)	委員等紹介/ 委嘱状交付/ 正副委員長の選任について/ 基調報告「地域福祉の課題・今、社協は何をしなければなら ないのか」藤井博志委員長「第1次計画の検証と2次計 画について」山本事務局長/ 策定スケジュール	12名	一宮保健福祉 センター
第2回	9/17(金)	報告「第1次地域福祉推進計画の4つの推進目標の総括に ついて」/ グループ討議「地域の福祉課題から見える改 善策を出し合おう」/ グループ発表/ 全体討議とまとめ	8名	宍粟防災 センター
第3回	11/6(土)	報告 作業部会の報告/ 中学校区別福祉カルテについて 協議事項 第2次地域福祉推進計画策定スケジュールについ て/ 宍粟市社協の課題分析について/ 社協理事会への中 間報告について	9名	一宮保健福祉 センター
第4回	12/17 (金)	グループディスカッション「構想と計画骨子、総合体系図と福 祉連絡会アンケートの中間集計資料について」/ グループ発 表とまとめ	10名	一宮保健福祉 センター
第5回	23年 1/21(金)	協議事項 地域福祉推進計画 総合体系図について/ 自治 会福祉連絡会の3モデルの提案について/ 第3回地域福祉 のつどいについて	11名	一宮保健福祉 センター
第6回	2/28(月)	報告 地域福祉のつどいアンケートのまとめ 協議事項 総合体系図(修正案)について	10名	一宮保健福祉 センター
第7回	4/8(金)	報告 計画(案)の最終決定時期の修正について 協議事項 年次計画と地域ネットワーク図について	12名	一宮保健福祉 センター
第8回	6/17(金)	協議事項 第2次地域福祉推進計画書(案)の内容確認と承 認について/ 理事会への報告と計画(案)の承認手続きにつ いて	12名	一宮保健福祉 センター

### 作業部会 (一宮保健福祉センターで開催)

開催日		主な協議事項
第1回	8/16(月)	作業部会の日程について/地区カルテの作成について
第2回	8/31(火)	宍粟市の福祉データについて/地区カルテの作成について
第3回	9/13(月)	地区カルテの作成について/策定委員会の進め方について
第4回	10/6(水)	スケジュールの作成について/ 検討課題について/ 調査、ヒアリングについて
第5回	10/25(月)	課題分析 各支部福祉連絡会の現状/ 在宅福祉サービスについて/ 社協への住民参 画の状況
第6回	11/6(土)	委員会資料の内容について/ 次回委員会に向けて打合せ、確認

第7回	11/22(月)	宍粟市社協の課題分析/ 理事会への中間報告について
第8回	12/9(木)	宍粟市社協の重要課題分析
第9回	12/17(金)	作業部会のすすめ方の確認/ 次回委員会に向けて打合せ、確認
第10回	1/5(水)	資料の確認/ 重要課題分析について
第11回	1/12(水)	重要課題分析について/ 資料について/ 地域福祉の萌芽、制度の狭間の事例について/ 総合体系図の推進目標の表現や活動項目について
第12回	1/19(水)	総合体系図の推進目標と活動項目について/ 地域福祉の萌芽、制度の狭間の事例の確認
第13回	1/26(水)	第3回地域福祉のつどい準備作業について/ 総合体系図について/ 地域福祉の萌芽、制度の狭間の事例の確認
第14回	2/3(木)	第3回地域福祉のつどい 基調報告資料について/ 総合体系図について
第15回	2/8(火)	第3回地域福祉のつどい 基調報告資料について/ 総合体系図について
第16回	2/16(水)	第3回地域福祉のつどいについて
第17回	2/23(水)	総合体系図について/ 地域包括支援センターのヒアリングについて
第18回	3/2(水)	総合体系図の活動項目について
第19回	3/9(水)	総合体系図の活動項目について修正確認
第20回	3/23(水)	第2次計画の章だてについて/ 地域ケアシステム図の提案について
第21回	3/29(火)	年次計画について/ 地域ネットワーク図について
第22回	4/6(水)	年次計画について/ 地域ネットワーク図について
第23回	4/13(水)	総合体系図について/ 地域ネットワーク図について
第24回	4/22(金)	総合体系図について/ 地域ネットワーク図について
第25回	5/11(水)	総合体系図について/ 地域ネットワーク図について
第26回	5/18(水)	第2次地域福祉推進計画 内容の確認/ 地域支えあい体制づくり事業の受託について
第27回	5/25(水)	第2次地域福祉推進計画 内容の確認/ 地域支えあい体制づくり事業の受託について
第28回	6/8(水)	第2次地域福祉推進計画 内容の確認/ 地域支えあい体制づくり事業について
第29回	6/15(水)	第2次地域福祉推進計画 内容の最終確認

・打合せ等

	月日	内 容	場 所
事前 打合せ	7/14(水)	今回の計画について/ 1次計画から引き継ぐこと/ 2次計画の内容/ 調査について/ 計画年度について/ 委員会の開催について	神戸学院大学 藤井研究室
中間打 合せ	12/12(日)	策定委員会の今後のすすめ方について/ 第3回地域福祉のつどい の実施について	神戸学院大学 藤井研究室

## 策定委員会設置要綱

### 社会福祉法人 宍粟市社会福祉協議会

#### 第2次宍粟市社会福祉協議会地域福祉推進計画策定委員会設置要綱

##### (目的)

第1条 社会福祉法人宍粟市社会福祉協議会(以下「社協」という。)の第2次地域福祉推進計画を策定するため、定款第18条に基づき、委員会を設置する。

##### (名称)

第2条 この委員会は、地域福祉推進計画策定委員会(以下「委員会」という。)と称する。

##### (委員の選任及び任期)

第3条 委員会は、12人以内の委員で組織し、次の各号に掲げる者で構成する。

- (1)理事・評議員
- (2)住民・住民組織の代表
- (3)ボランティア
- (4)専門機関・施設の役職員
- (5)学識経験者

2 委員は、理事会で選任し、社協会長が委嘱する。

3 委員の任期は、計画の策定が終わるまでとする。

##### (正副委員長)

第4条 委員会に委員の互選による委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は、委員会を統括し、委員会を招集する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長事故ある時は、その職務を代理する。

##### (関係者の出席)

第5条 委員会は、必要があると認めるときは、関係者を委員会に招き意見を聞くことができる。

##### (理事会への報告)

第6条 委員会は、計画の策定段階の状況を必要に応じ理事会へ報告するものとする。

##### (作業部会)

第7条 策定作業を円滑に進めるため、委員会に補助機関としての実務者による作業部会を設置することができる。

2 作業部会は、策定作業の細部にわたる検討を行い、社協職員等の実務者で構成する。

3 作業部会の部会員は、委員会で協議し選任する。

(策定手順)

第8条 計画は、委員会で策定終了後、理事会へ報告し、理事会の議決及び評議員会の議決を得て決定されものとする。

(経費)

第9条 委員会及び作業部会の必要な経費については、予算の範囲内において社協一般会計より支出する。

(補則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

(施行期日)

この要綱は、平成22年6月1日より施行する。

## viii 策定委員会・作業部会名簿

## 宍粟市社会福祉協議会

## 第2次地域福祉推進計画策定委員名簿

(敬称略)

	役職名	選出区分	氏名	備考	所属支部
1	委員長	学識経験者	藤井博志	神戸学院大学 総合リハビリテーション学部教授	——
2	副委員長	理事・評議員	小椋清之助	社協副会長理事	波賀
3	委員	理事・評議員	鎌田珠子	社協理事・ボランティア	山崎
4	委員	住民・住民組織代表	助光 和雄	土万ふれあいの館 館長	山崎
5	委員	住民・住民組織代表	中野 剛志	男性介護者の会代表	山崎
6	委員	住民・住民組織代表	土居 正 榮	保護司 共同募金委員会監事	一宮
7	委員	住民・住民組織代表	柴原 蔦子	ボランティア	一宮
8	委員	住民・住民組織代表	油 田 久美子	前波賀婦人会副会長 ボランティア	波賀
9	委員	住民・住民組織代表	笹 泰 介	宍粟市行政相談員 元千種町連合自治会長	千種
10	委員	住民・住民組織代表	山 木 康 子	前千種婦人会長 社協理事	千種
11	委員	専門機関・施設の役職員	船 積 攝 子	老健施設むつみ園 事務部長	——
12	委員	専門機関・施設の役職員	杉 尾 克	宍粟市健康福祉部長	——
			花 本 孝	宍粟市健康福祉部次長 社協理事	——
	オブザーバー	その他	松 本 裕 一	兵庫県社会福祉協議会 地域福祉部主事	——
	オブザーバー		鶴 崎 和 宏	宍粟市社会福祉協議会 会長	——

※ 杉尾委員は平成23年3月31日まで就任。

※ 花本委員は平成23年4月1日から就任。

第2次地域福祉推進計画策定 作業部会関係職員名簿

	所属	役職名	氏名	
1	本部	事務局長	山本 正幸	
2	本部・波賀	事務局次長	可藤 和成	
3	山崎	支部長	春名 章宏	
4	千種	支部長	春名 豊滋	
5	本部	事務局次長補佐 地域福祉係長	前野 瑞恵	
6	山崎	コミュニティワーカー	森井 裕矢	
7	本部・一宮	コミュニティワーカー	波多野 好則	
8	波賀	コミュニティワーカー	上田 めぐみ	
9	千種	コミュニティワーカー	小原 志のぶ	
10	本部・一宮	ボランティア コーディネーター	田中 祥仁	